



# 取付説明書

## Dea's Beta Wood Unit Fence ベータウッド ユニットフェンス

このたびはDea's Garden製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
正しく組み立てをしていただくために、この取付説明書をよくお読みください。

### ⚠ 警告

このパネルは隣地との境界を示すための目的で設置するものです。  
転落防止のための防護柵や歩行補助のための手すりとしては使用できません。  
特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは絶対に施工しないでください。

#### 施工される前に

- ◆ 製品の組み立てには危険を伴いますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ◆ ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 (C種) 以上で施工してください。
- ◆ 指定寸法は必ず守ってください。
- ◆ 梱包明細表 (⇒2ページ) で必要な部品が揃っていることを確認してください。
- ◆ 変形や破損の恐れがありますので、開梱後のパネルを平積みにしないでください。

#### 施工上の注意

- ◆ フリーPOールと接続部の間隔は 200mm以内にしてください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。
- ◆ フリーPOールのピッチは最大2,000mm以内で施工してください。
- ◆ コーナーカバーを使用する場合、角部には必ずフリーPOールを2本施工してください。
- ◆ フリーPOール底部分のモルタル進入防止テープは剥さないでください。また、フリーPOールの内部にモルタル等を詰めないでください。
- ◆ コンクリートやモルタルに塩分を含む砂のご使用は避けてください。また混和材を用いる場合は、非塩素系またはアルカリ系のものをご使用ください。
- ◆ 製品に付着したコンクリート、モルタルは速やかに取り除いてください。
- ◆ この製品は外気温によって変化する板材の伸縮に対応できるよう設計されています。切断加工時などパネルを分解した際は、本書に従って正確に組み立ててください。
- ◆ 製品を切断する際、本書に工具の指示がある場合は必ず指定の工具を使用してください。
- ◆ 組み立てが不十分だと強風で外れる場合があります。本書に従い確実に固定してください。

梱包明細表

A

標準寸法・方法

B

コーナーカバーを  
使用する場合

C

パネルの切断方法

D

パネルの組立て

E

施ベー  
タウ  
ッド支  
柱に

F

補強レールについて

G

# A 梱包明細表 (1~3型共通)

- 開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。
- 商品に異常がないことをご確認ください。

## ● T10パネル

部品名称	員数
T10パネル	1
取付説明書 ※1	(1)
取扱説明書 ※1	(1)
保証書 ※1	(1)

※1. 取付説明書、取扱説明書、保証書は1現場に1冊ずつパネルに同梱します。

## ● T10フリーポール

部品名称	員数
T10フリーポール	1
皿 ドリルねじ ( $\phi 4 \times 50$ )	2
超低頭ドリルねじ ( $\phi 5 \times 25$ )	1
なべドリルねじ ( $\phi 4 \times 13$ )	1

## ● T10端部カバー

部品名称	員数
T10端部カバー 右	1
T10端部カバー 左	1
T10縦桟 右	1
T10縦桟 左	1
スペーサー ※2	(10)
パッキン ( $10 \times 150$ )	2
なべタッピングねじ ( $\phi 4 \times 50$ ガイド付)	8
専用ドリルねじ ( $\phi 5 \times 25$ )	12
小頭 皿 小ねじ ( $M4 \times 10$ )	6

※2. スペーサーは、端部カバーに組み付けられた状態で入っています。

※3. 2型の場合は、スペーサーの員数が14になります。

※4. 3型の場合は、専用ドリルねじが1本余ります。

## ● 端部キャップ

部品名称	員数
端部キャップ上 右	1
端部キャップ上 左	1
端部キャップ下 右	1
端部キャップ下 左	1
皿ドリルねじ ( $\phi 4 \times 13$ )	4

## ● ユニットフェンス取付用 支柱キャップ 60×60/70×70

部品名称	員数
ユニットフェンス取付用支柱キャップ	1
穴隠しキャップ	2
なべドリルねじ ( $\phi 4 \times 13$ )	2
ガイド用チューブ	1

## ● 接続キャップ

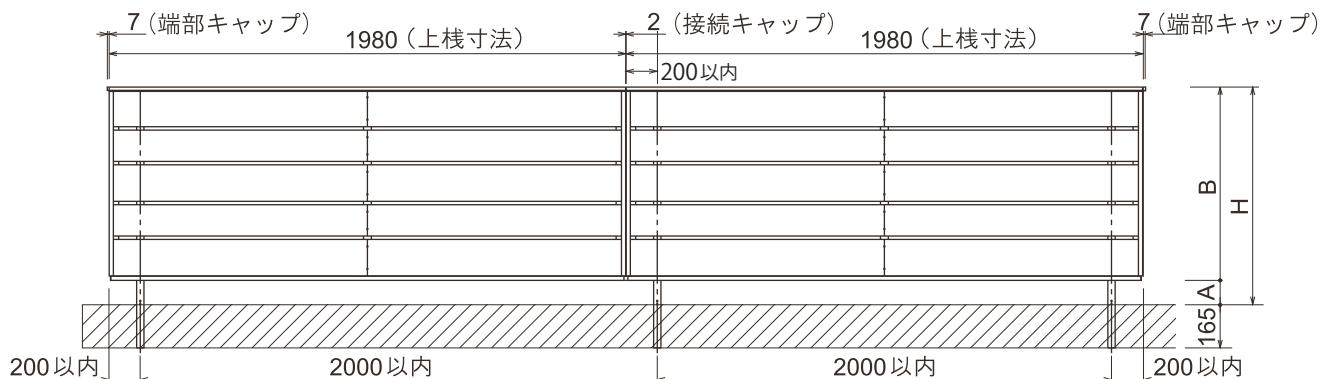
部品名称	員数
接続キャップ 上	1
接続キャップ 下	1
皿ドリルねじ ( $\phi 4 \times 13$ )	4

### ▲ 注意

各部品はパネルやフリーポールに同梱して送る場合があります。

■ 基本寸法

(単位:mm)

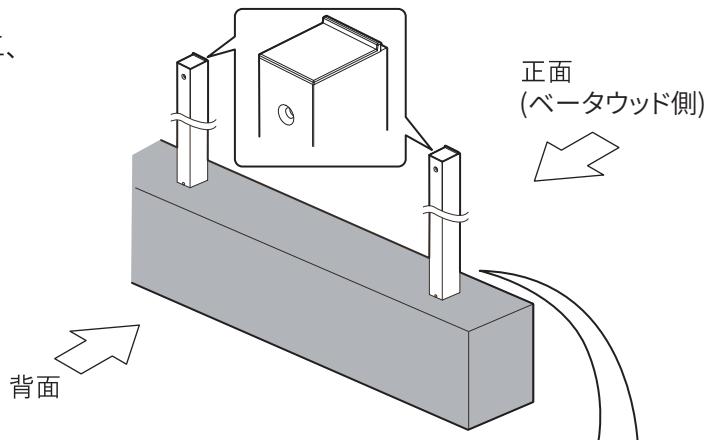


図は1型 T8の場合

# B 標準施工方法

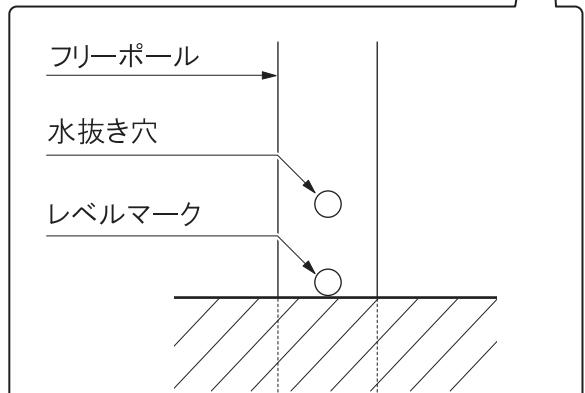
## 1 フリーポールの施工

各フリーポールを基本寸法図に従って施工、モルタルで固定してください。



注意

- フリー pocle を施工する際は水抜き穴をふさがないでください。内部に水がたまると凍結時にフリー pocle が破裂する恐れがあります。
  - フリー pocle は垂直に施工してください。各フリー pocle の最上部は高さを揃えてください。



## 2 パネルの取付

注意

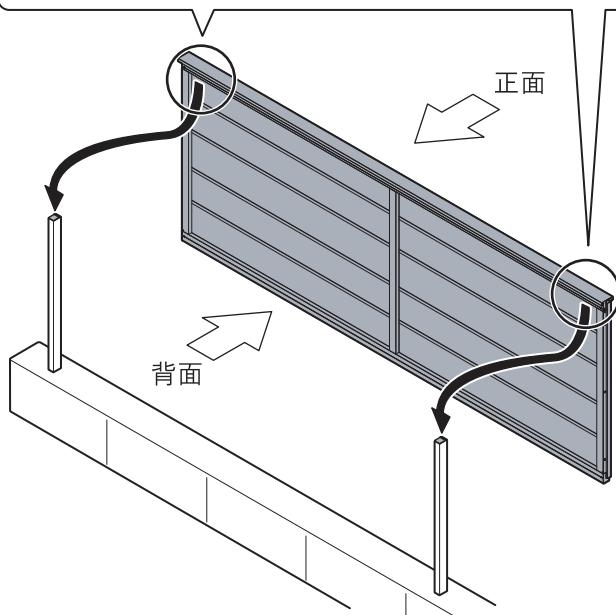
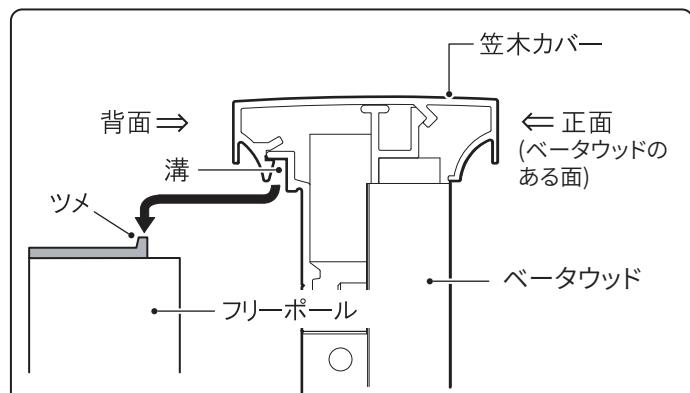


・コーナーカバーを取付ける際は、取付の手順が異なります。詳しくは、P.10～P.13を参照してください。

また、コーナーカバーを取付けるパネルから先に位置決めをしてください。

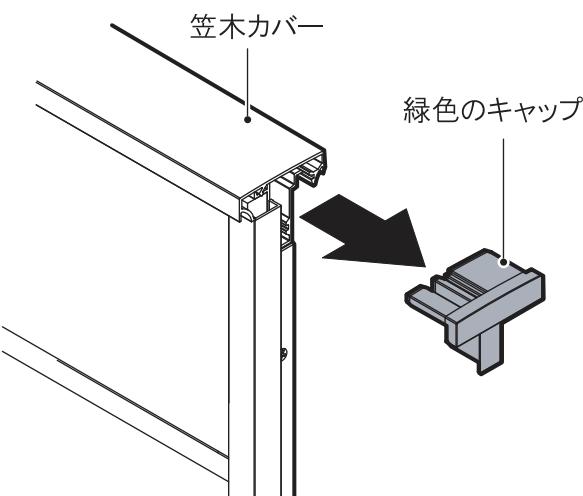
B

【1】笠木カバーの溝をフリーポール上部のツメに引掛けてください。

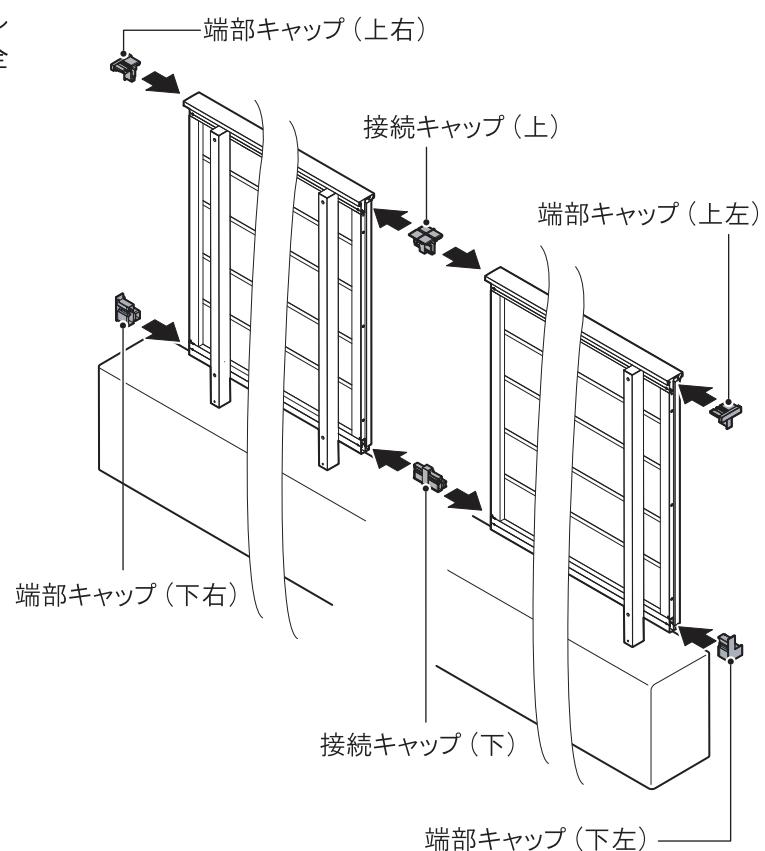
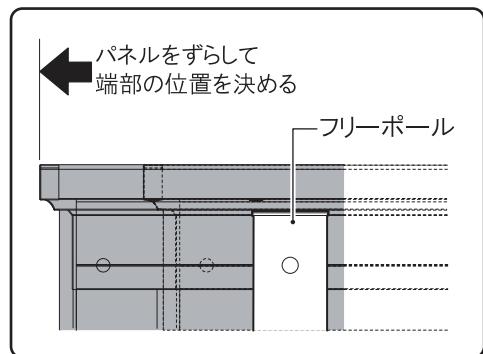


【2】笠木カバーにセットされている「緑色のキャップ」を外してください。

この部品は運搬中のはずれ止め用です。  
外して処分してください。



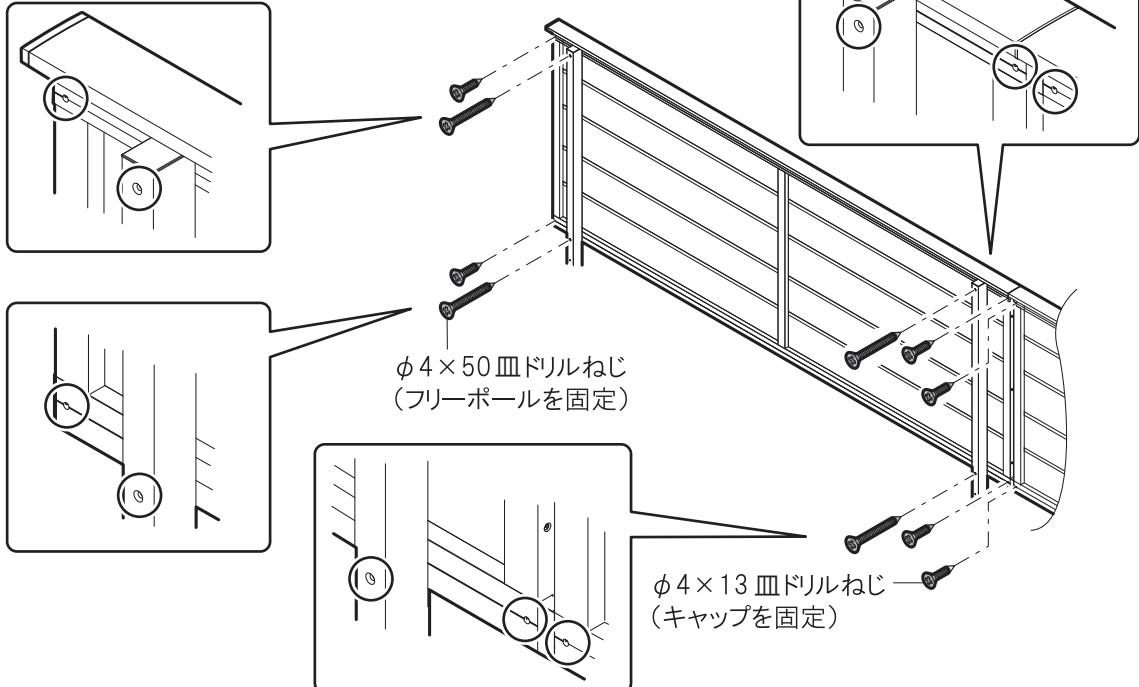
**【3】** 端部キャップ、接続キャップをパネル上下の棟に差し込みながらパネル全体の位置を決めてください。



## 2-1 パネルの固定 背面から施工できる場合（できない場合は 2-2 へ）

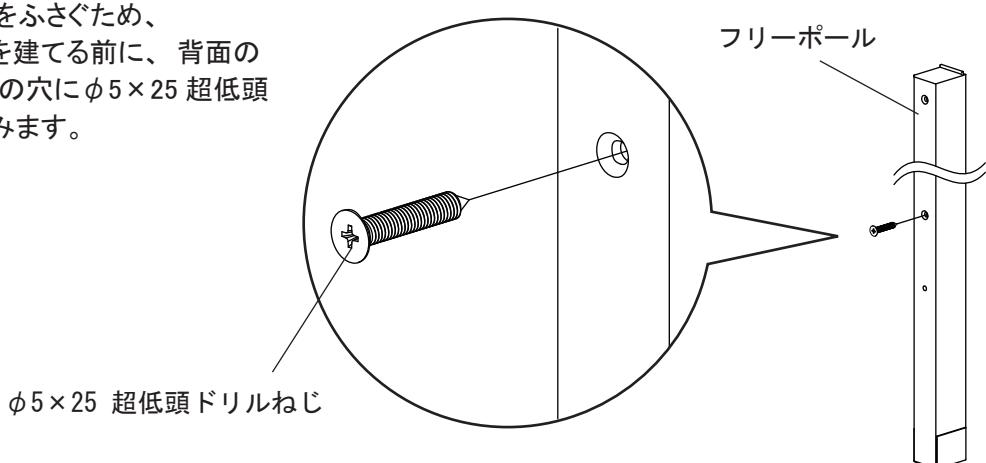
B

【1】各パネル、キャップに隙間が無いことを確認し、ねじで固定してください。



## 2-2 パネルの固定 背面から施工できない場合

【1】使用しない穴をふさぐため、  
フリー ポールを建てる前に、背面の  
上から 2 つ目の穴に  $\phi 5 \times 25$  超低頭  
ねじをねじ込みます。



- [2]** パネルの最下段のベータウッドを一旦取り外します。  
取付けねじを外し、中央部分を手前に引っ張ると取り外すことができます。

△注意

- 取付けねじは、後でベータウッドを再度取付ける際に使用しますので、紛失しないように注意してください。

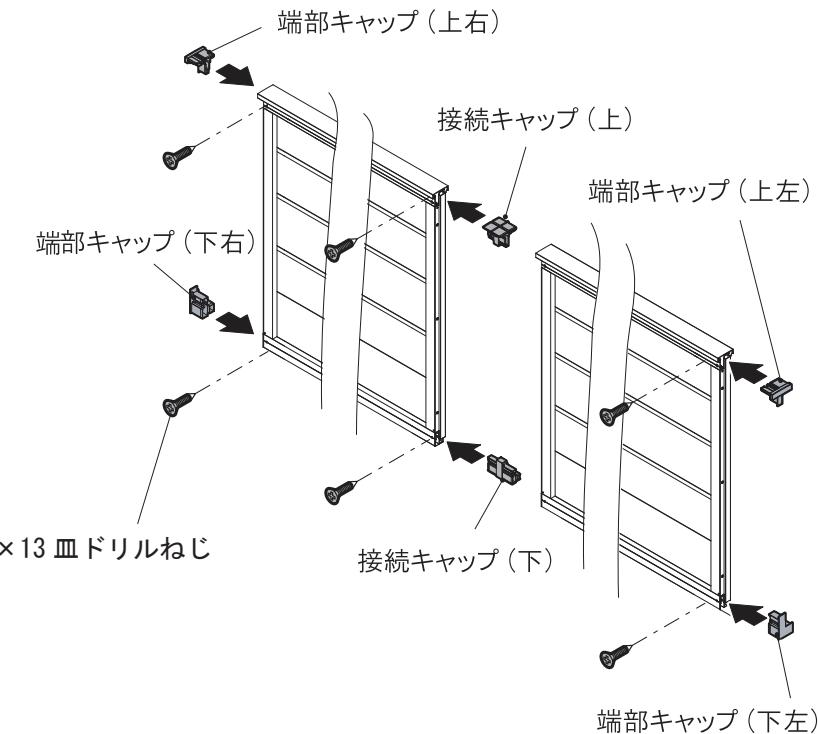
取付けねじ



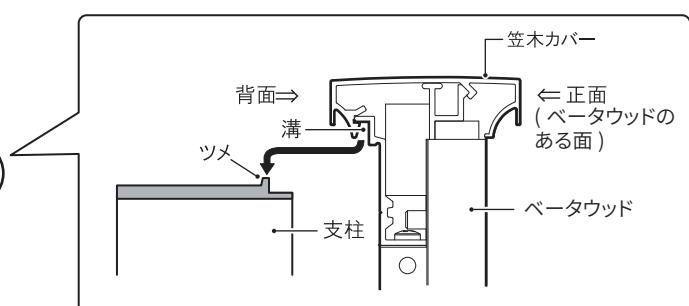
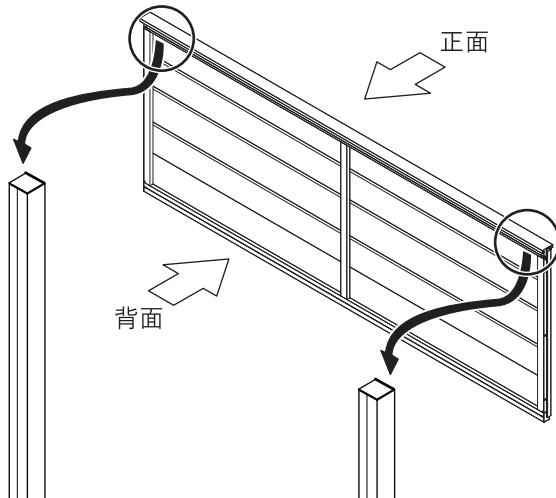
手前に引っ張る

- [3]** 端部キャップ、接続キャップをパネル上下の棟に差し込み、裏側から $\phi 4 \times 13$ 皿ドリルねじで固定してください。

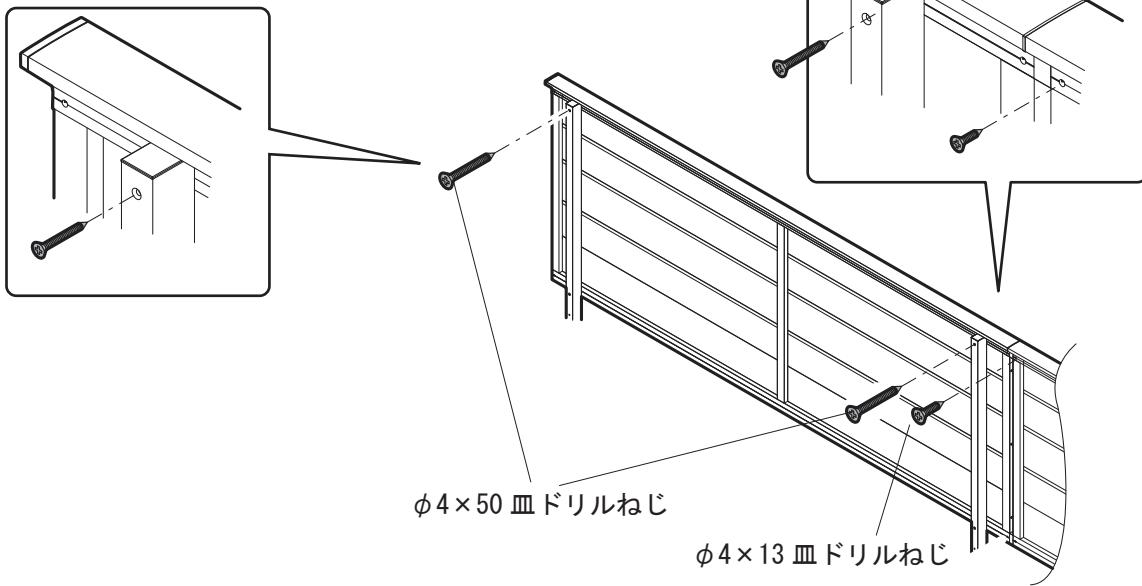
接続キャップ（上）（下）は、連続するパネルのどちらか片方にのみ固定します。



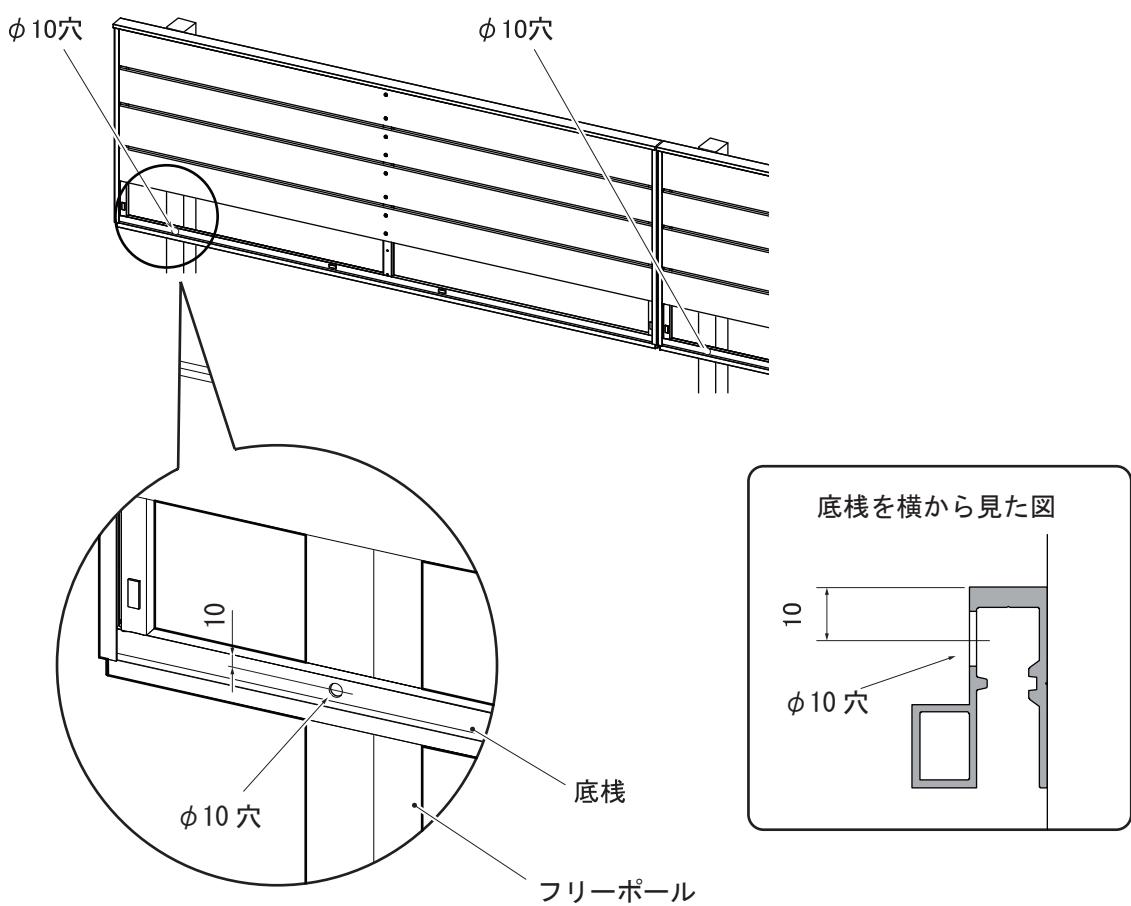
- [4]** 笠木カバーの溝を支柱キャップのツメに引掛けてください。



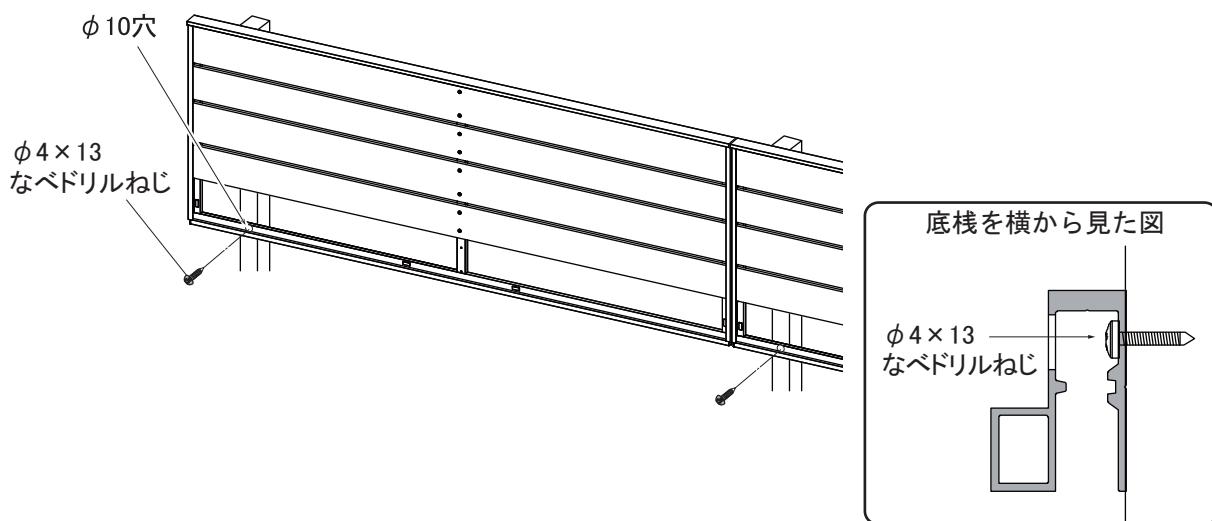
- [5]** パネルをフリーポールの上でスライドさせて位置を決め、各パネル、キャップに隙間が無いことを確認して、パネル上部とフリーポール、及び接続キャップ（上）をねじで固定してください。



- [6]** 底桿のフリーポールの正面の位置に、ねじ頭を通すための $\phi 10$ 穴を開けます。

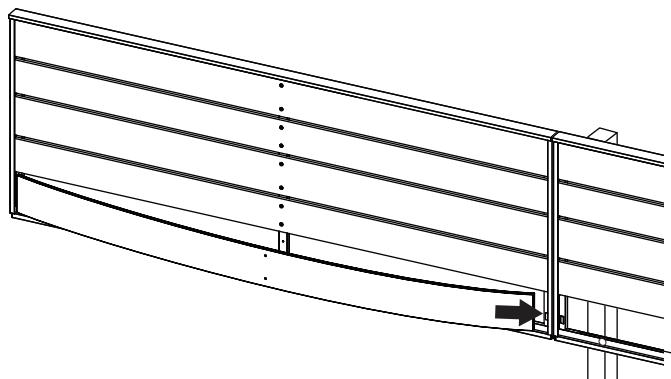


**[7]**  $\phi 10$ 穴の奥に $\phi 4 \times 13$ なべドリルねじを打ち、フリーポールとパネルとを固定します。

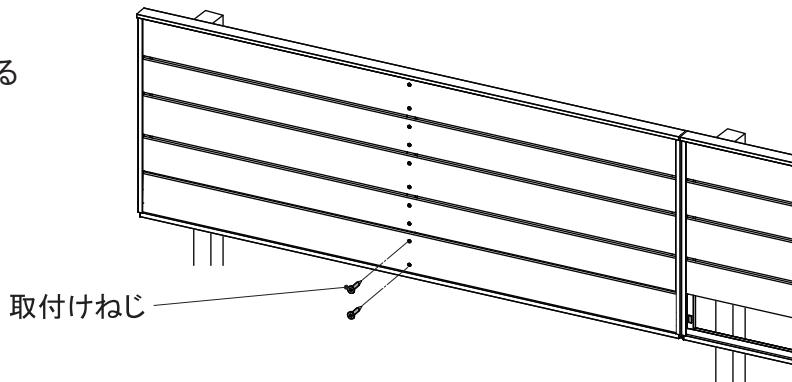


**[8]** 最下段のベータウッドを取付けなおしてください。

①ベータウッドを軽く  
曲げながら端部を挿入する



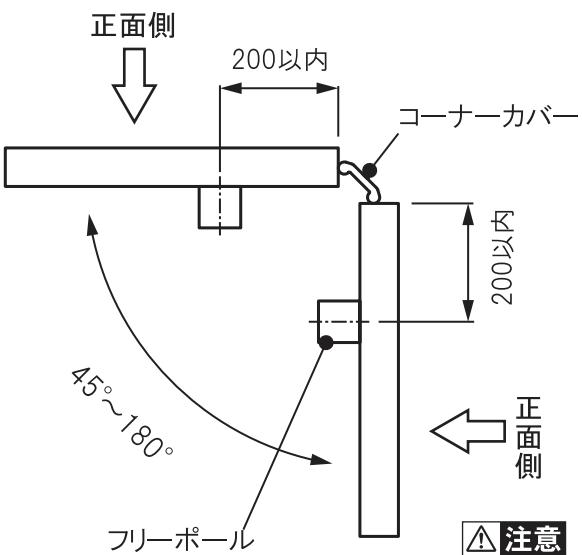
②取付けねじで再固定する



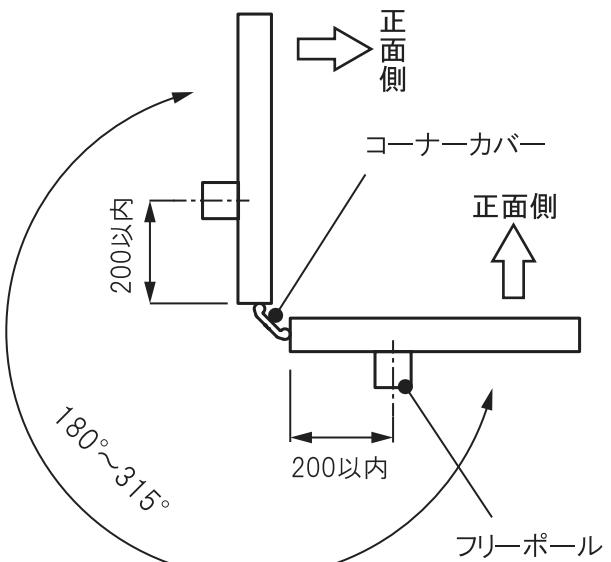
# C コーナーカバーを使用する場合の施工方法

## 1 基本寸法図

- コーナー角度が $45^{\circ} \sim 180^{\circ}$ の場合



- コーナー角度が $180^{\circ} \sim 315^{\circ}$ の場合



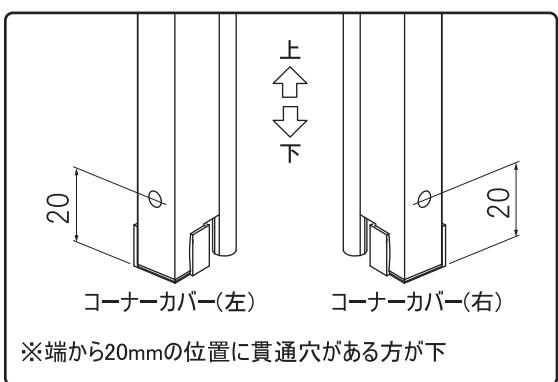
⚠ 注意  
角部には、フリーpoleを必ず  
2本建ててください。

## 2 コーナーカバーの分解

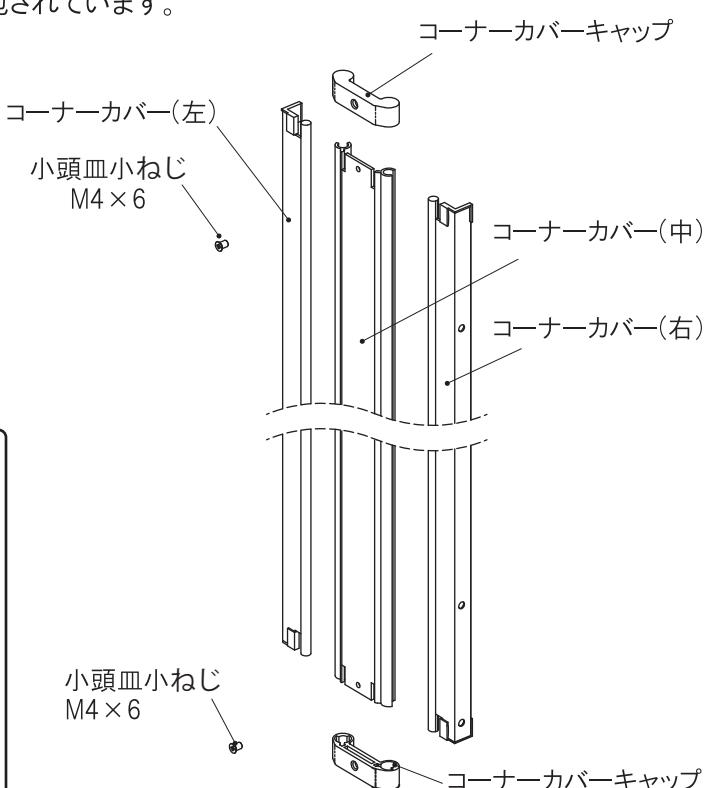
コーナーカバーは、組み立てられた状態で梱包されています。  
施工に際して、一旦分解してください。

### ⚠ 注意

- 分解した部品を紛失しないように注意してください。
- コーナーカバー(左)(右)には上下があります。  
図を参考に、間違えのないように取付けてください。



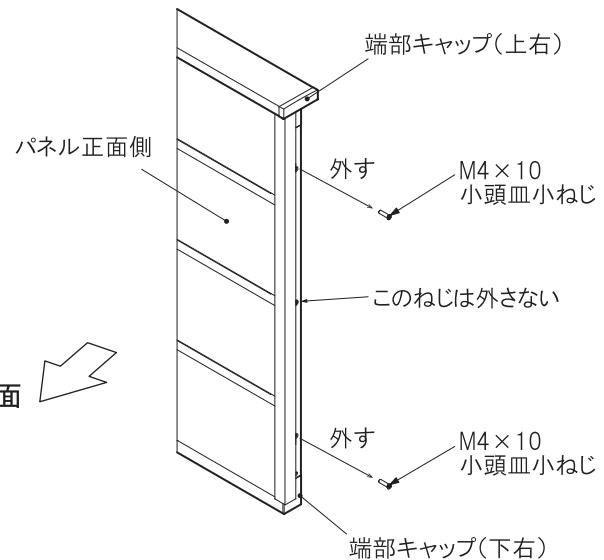
※端から20mmの位置に貫通穴がある方が下



### 3 コーナーカバー(左)(右)の取付

【1】コーナーカバーを取付ける部分の緑色のキャップを抜き、端部キャップをあらかじめ挿入しておきます。

【2】コーナーカバーを取付ける部分の、上下二本のねじを外します。



【3】3-【2】で外したねじを使い、

コーナーカバー(左)(右)を取付けます。

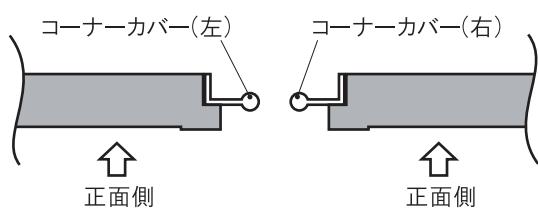
端から20mmの位置に目印用の穴が開いている方が下になるように取付けてください。

※右図はコーナーカバー(左)の場合です。

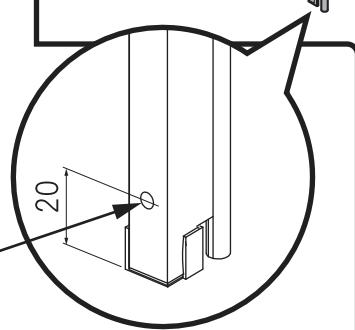
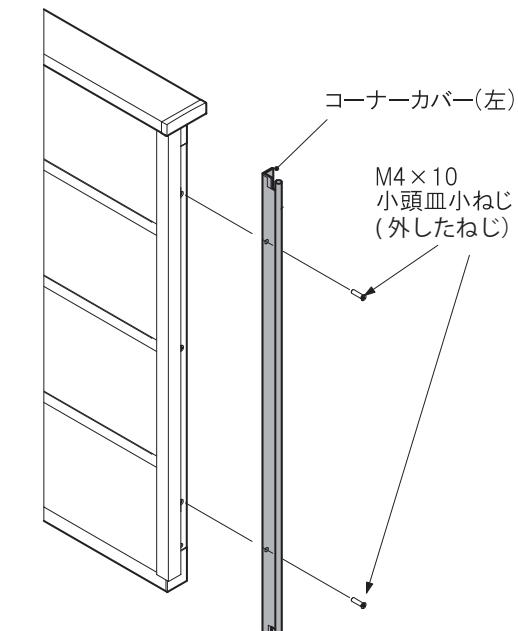
コーナーカバー(右)も同様に取付けてください。

※コーナーの角度にかかわらず、コーナーカバー(左)(右)の取付け位置、取付方向は下図の通りになります。

平面図

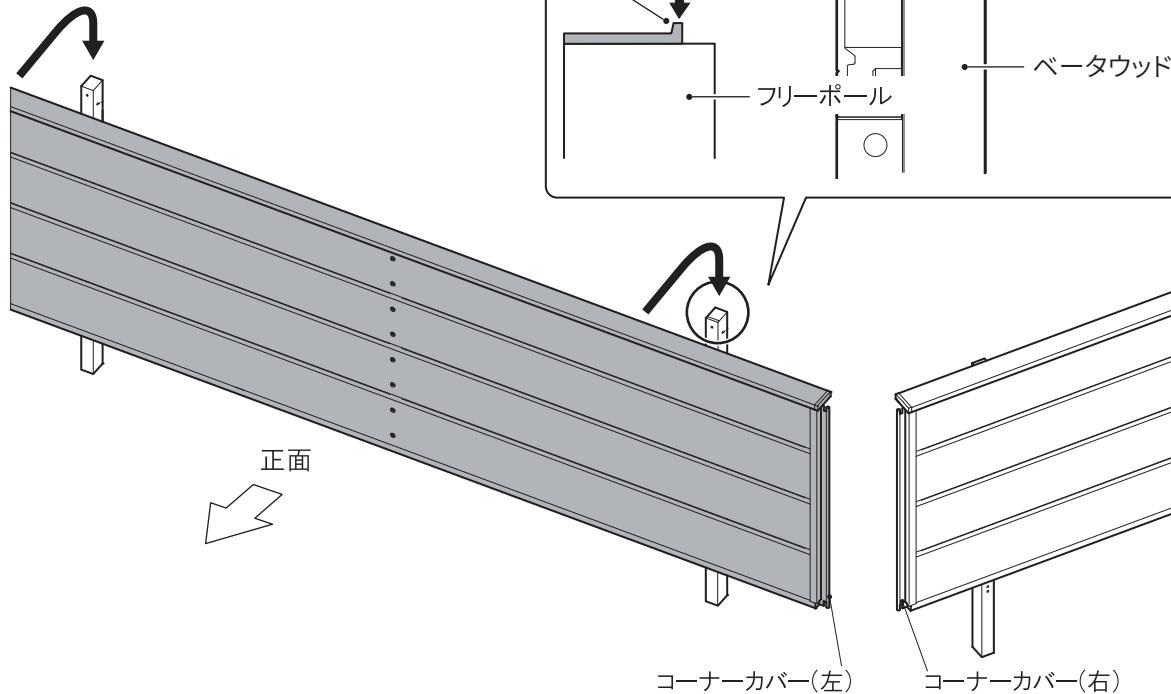


重要  
この穴がある方を下にして取り付けてください。

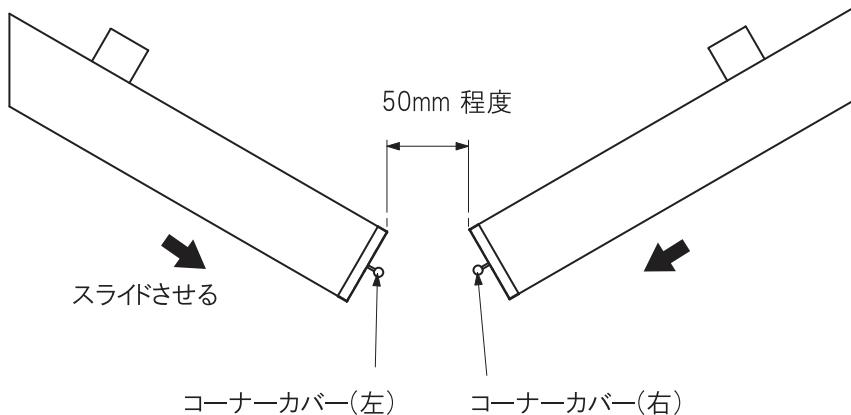


## 4 仮置きと位置調整

【1】笠木カバーの溝をフリーポール上部のツメに引掛けしてください。



【2】フリー ポールに引っ掛けた状態のまま、パネルをスライドさせ、パネル同士の距離が50mm程度になるまで近づけます。



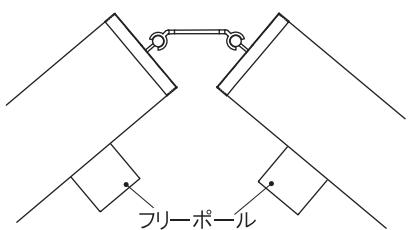
※図は、パネルが外側に向いている場合

## 5 コーナーカバー(中)とコーナーカバーキャップの取付

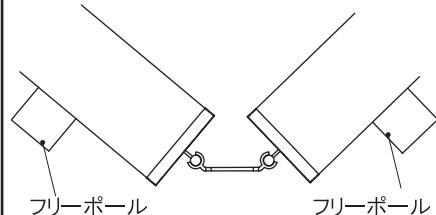
【1】パネルの位置を調整しながら、コーナーカバー(中)を上から挿入します。

このとき、コーナーの角度によって、コーナーカバー(中)の向きが変わりますので、図を参考に間違えの無いように注意してください。

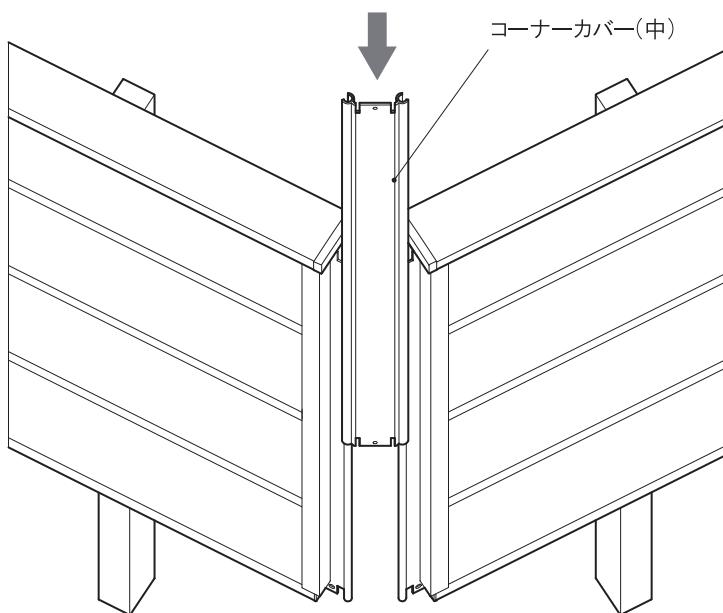
- コーナー角度が45~180°の場合



- コーナー角度が180~315°の場合



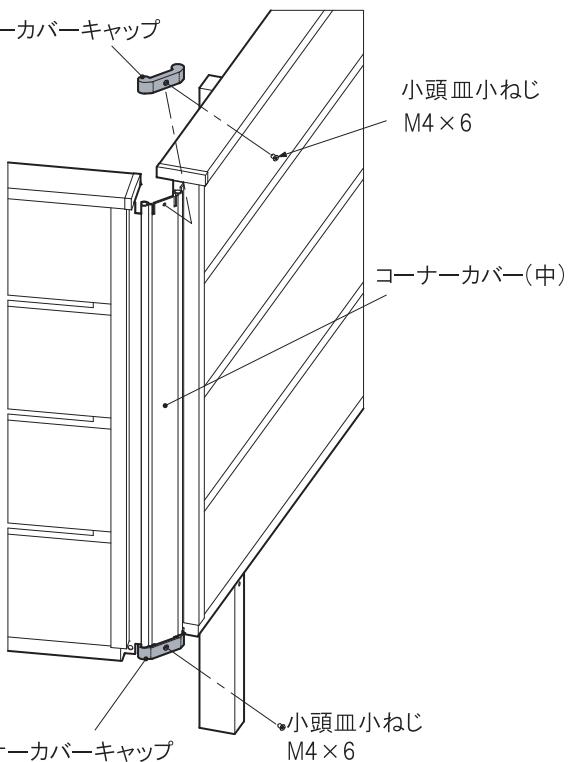
挿入(方向注意)



【2】皿ねじM4×10で、コーナーカバーキャップを取付けます。

コーナーカバーキャップ

小頭皿小ねじ  
M4×6



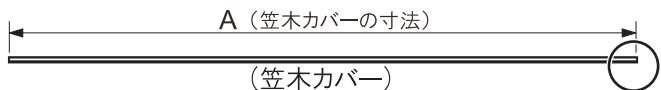
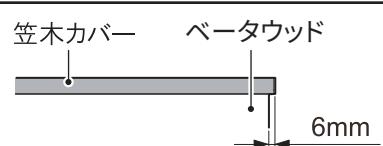
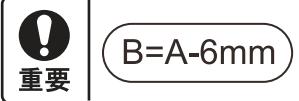
【3】P.5【3】、P.6 2-1【1】、2-2【1】の説明に準じて、端部キャップ・フリー ポールを固定します。

# D パネルの切断方法

## 1 切断する前に

切断する位置を決めてください。

笠木カバーは、パネル本体の寸法より『6mm』長くしてください。



パネルと笠木は切断する寸法が同じではありません。  
必ず笠木を外して別々に切断してください。



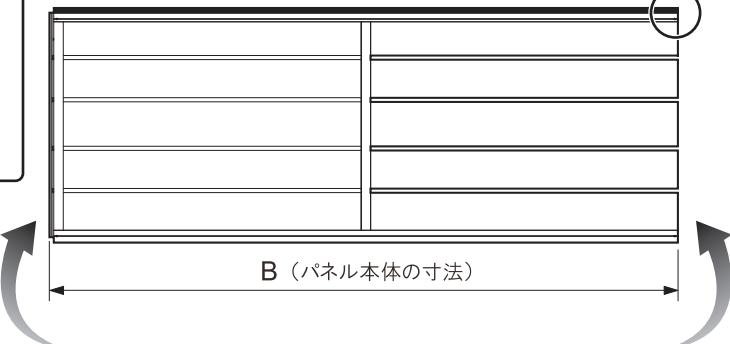
重要

縦桟・端部カバーがついていること  
(⇒P11参照)



重要

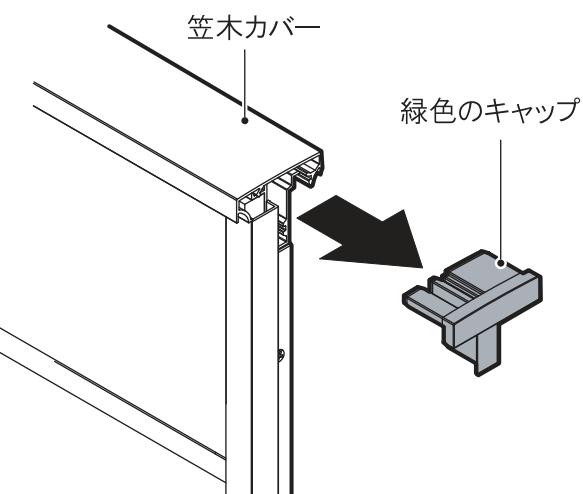
縦桟・端部カバーを外した状態  
(⇒P11参照)



## 2 笠木の切断

【1】 笠木カバーにセットされている「緑色のキャップ」を外してください。

この部品は運搬中のはずれ止め用です。  
外して処分してください。

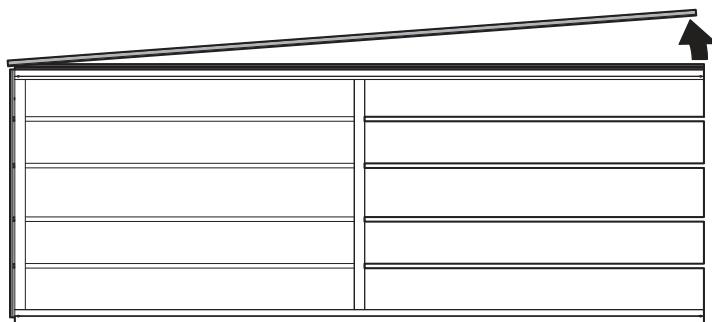


## 【2】笠木カバーを外します。

笠木カバーの端をねじるように回すと  
笠木カバーが外れます。

※ 中央部からは外れません。

端から外す



正面 →

ベータウッド

笠木カバー

## 【3】笠木カバーを切斷します。

### 3 パネル本体の切斷

#### 【1】切斷する側の端部カバーと縦桟を 外してください。

##### △注意

- 切斷しない側の端部カバーと縦桟は外さないでください。  
外したねじは組み立てに使いますので紛失しないようにしてください。



重要  
切斷しない側の縦桟・端部カバーがついていること

2本はずす

切斷側

縦桟

端部カバー

3本はずす

2本はずす

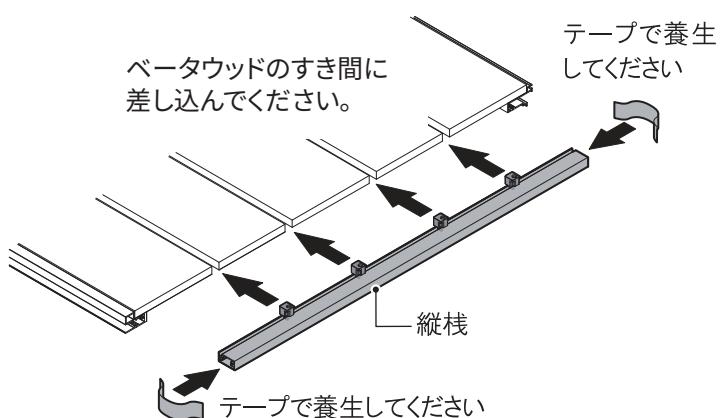


重要  
切斷する側の縦桟・端部カバーを外した状態

## 【2】パネルを切断します。

縦桟は治具として使用します。縦桟と直線定木(木材など)をクランプで固定して丸ノコで切断してください。  
丸ノコの刃は適切なものを使用してください。

・推奨する刃  
マルチ切断用刃(アルミ、樹脂共切断可能な刃)

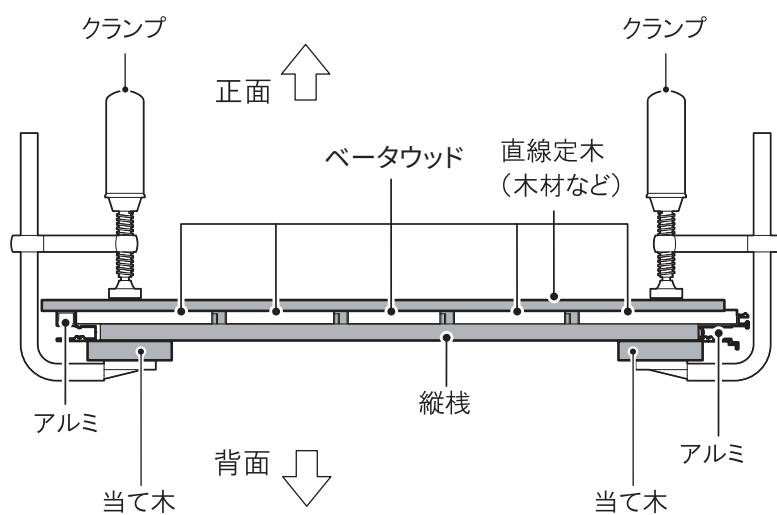
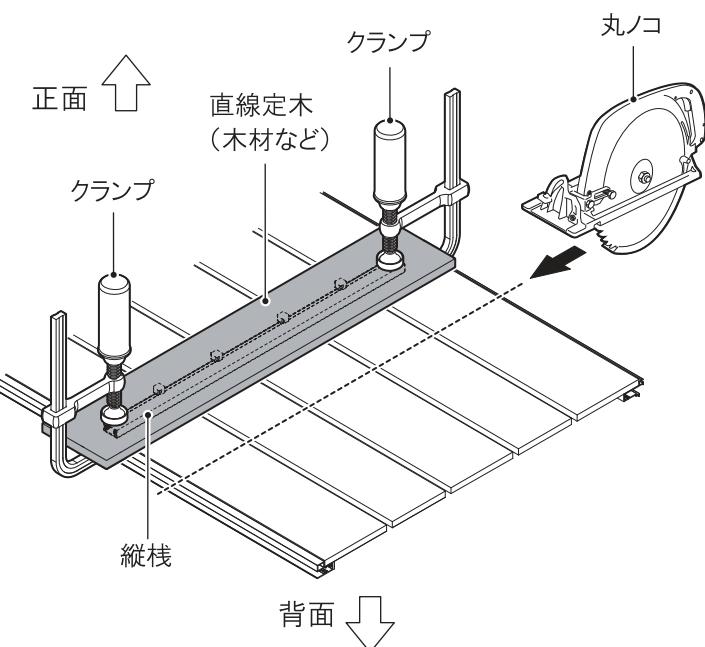


### △注意

- 木工用やアルミ用の刃で切断するとベータウッドが欠ける場合があります。



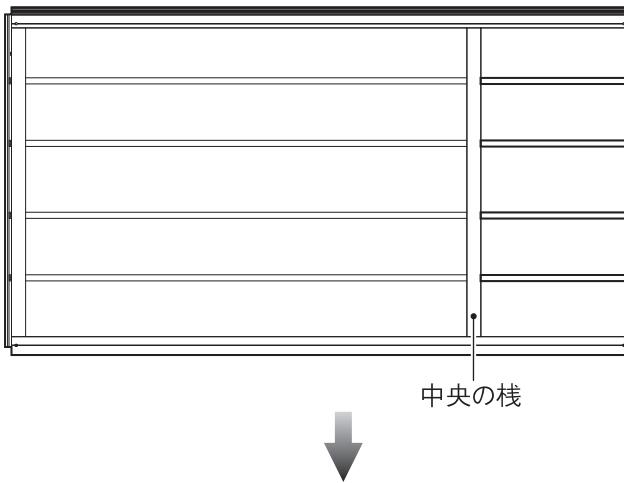
充分に固定されていない状態で切断するとケガをするおそれがありますので、確実に固定してください。



## 1 組み立てる前に

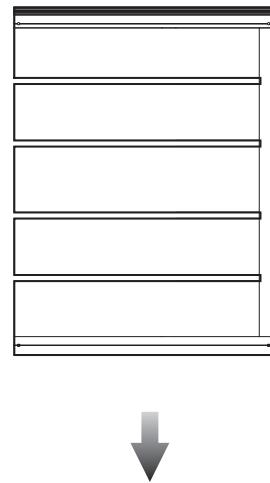
切断した後の形状によって組み立て方法が変わります。

[パネルの中央の縦桟が残っている場合]



P18 2 パネル組み立て①へ

[パネルに中央の縦桟が無い場合]

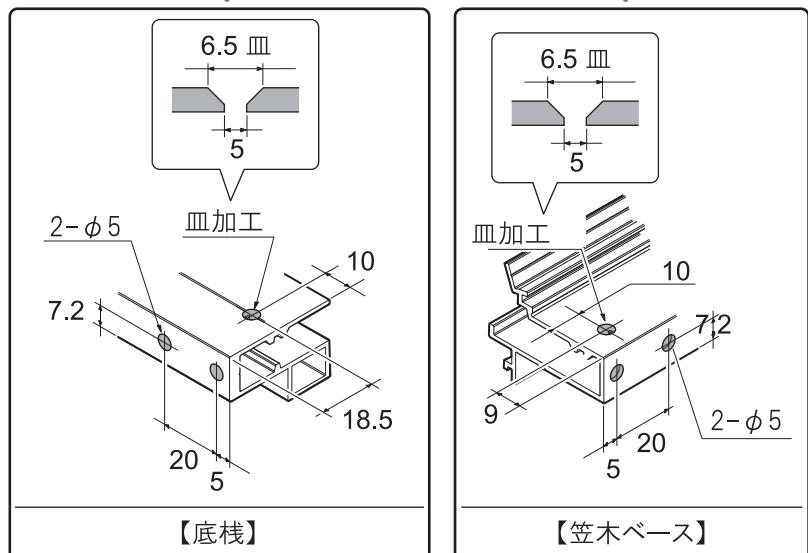
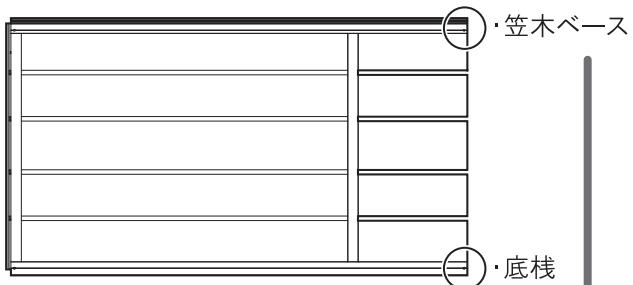


P20 3 パネル組み立て②へ

## 2 パネルの組み立て ① (パネルの中央の縦桟が残っている場合)

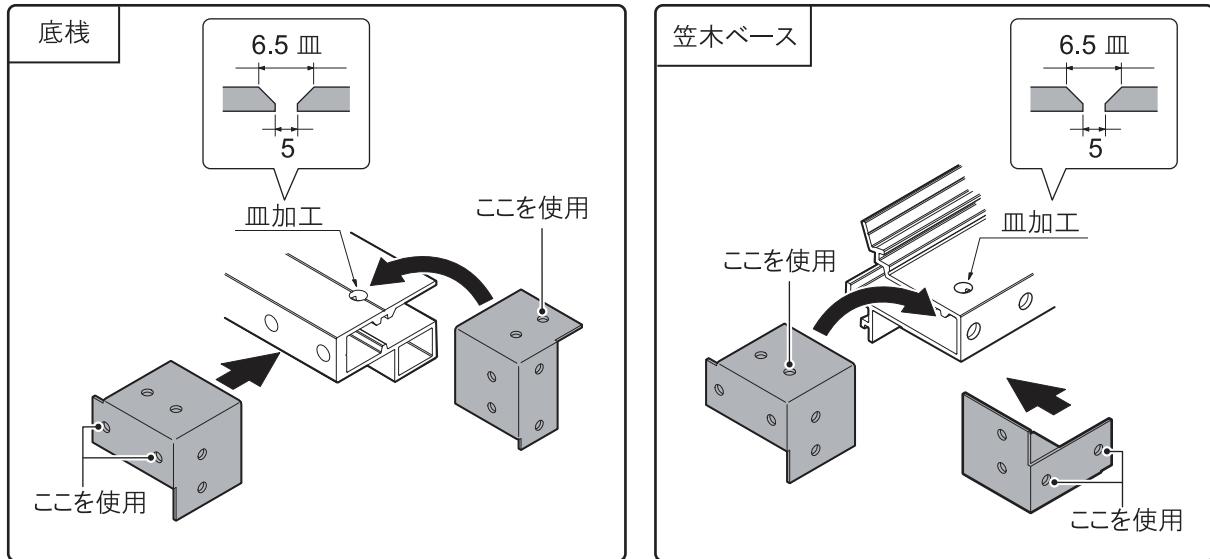
【1】切削した側の底桟、笠木ベースに右下図の寸法で穴加工します。

・笠木ベース	$\phi 5$ 穴 2ヶ所
	$\phi 5$ 穴+皿 1ヶ所
・底桟	$\phi 5$ 穴 2ヶ所
	$\phi 5$ 穴+皿 1ヶ所



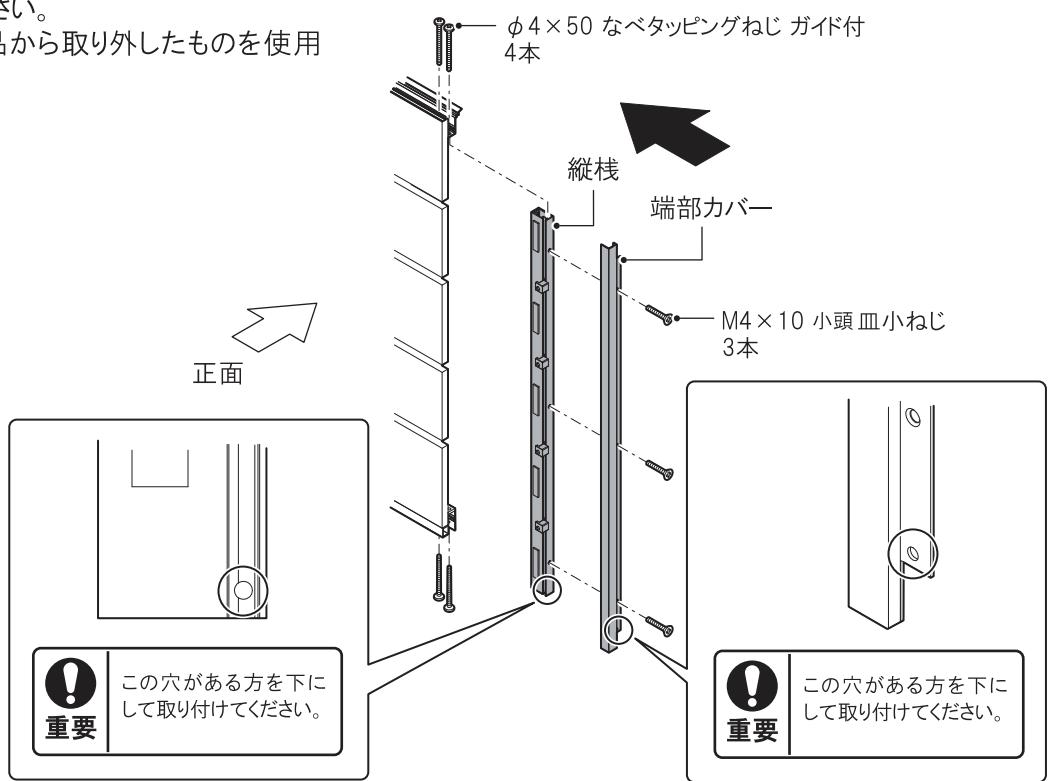
別売のジグを使用すると簡単に寸法出しが行えます。  
穴加工は、まず $\phi 3.2$ の穴を開けた後 $\phi 5$ のキリで穴を広げてください。

・ジグ  
・治具を使用する場合



## 【2】縦桿・端部カバーの順で部品を組み立ててください。

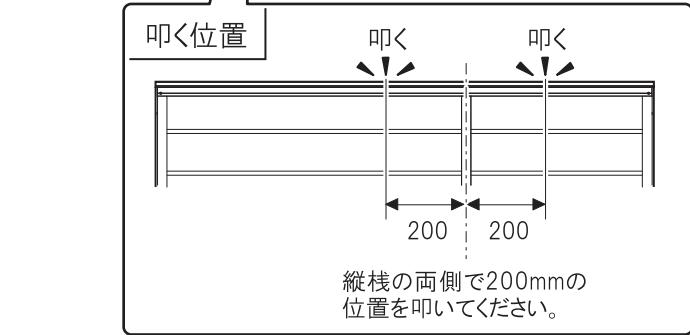
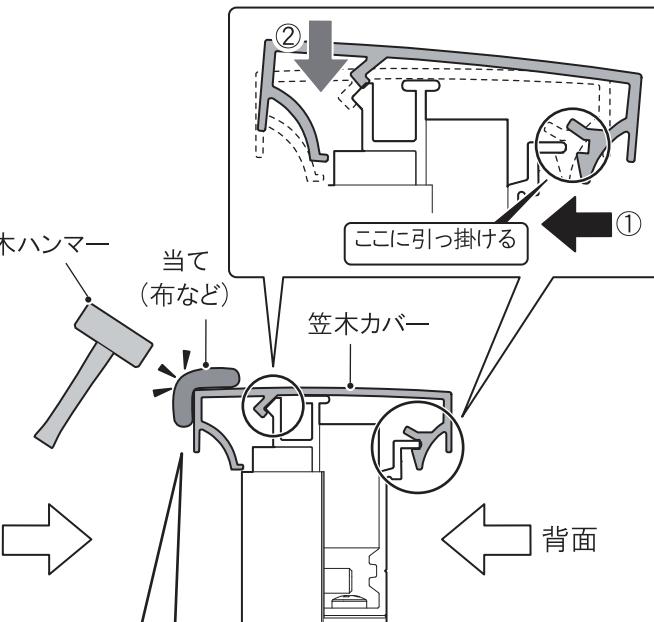
ねじは製品から取り外したものを使用します。



## 【3】笠木カバーを組み立ててください。

笠木カバーは、①背面側を引っ掛け  
てから、②正面側をはめこみます。

笠木カバーにキズがつかないように布  
などを当てた上から、木ハンマーで当  
ての上から叩いて取り付けてください。

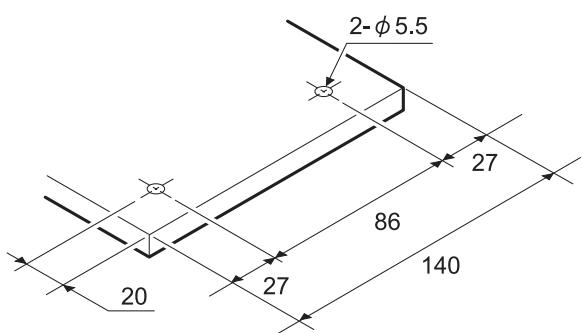


### 3 パネルの組み立て ② (パネルの中央に縦桟がない場合)

#### 【1】ベータウッドの加工。

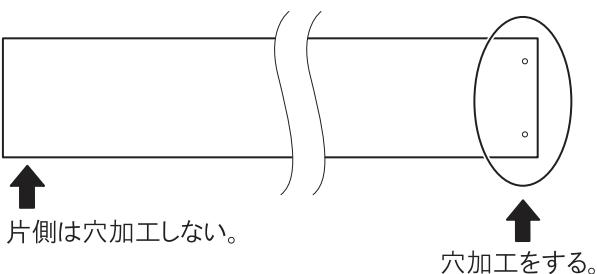
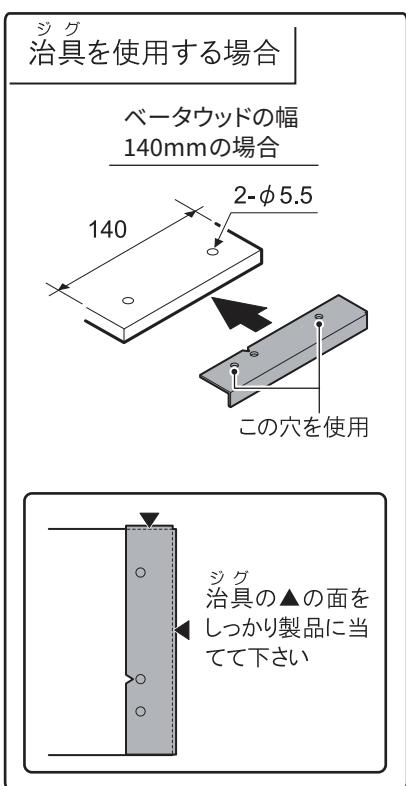
切断したパネルのベータウッドに穴加工します。  
加工するベータウッドの枚数は下表のとおりです。

サイズ	幅 (単位:mm)
T10	1型 : 140×6枚



ベータウッドの幅 140mmの場合

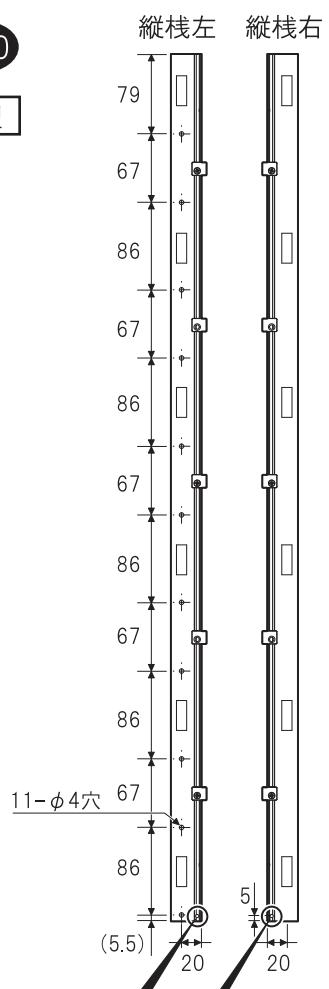
別売のジグ治具を使用すると簡単に寸法出しが行なえます。



#### 【2】縦桟の加工

縦桟右、もしくは左どちらかに穴加工します  
※ 図は縦桟左に穴を開けた場合

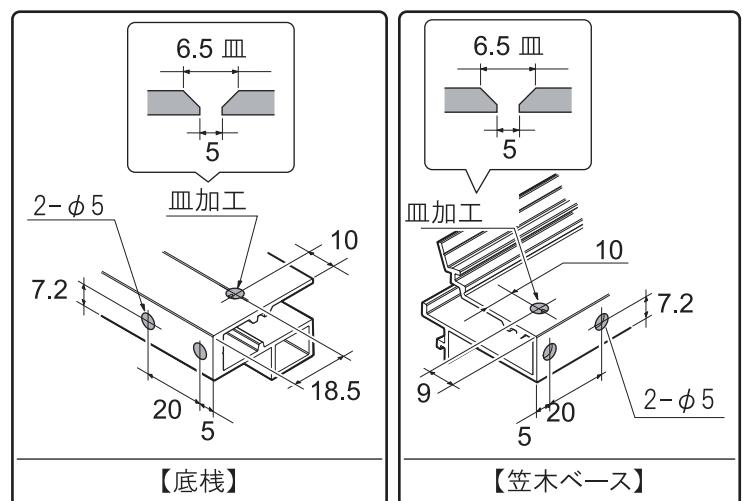
T10  
1型



**重要**  
穴のある方が  
下側

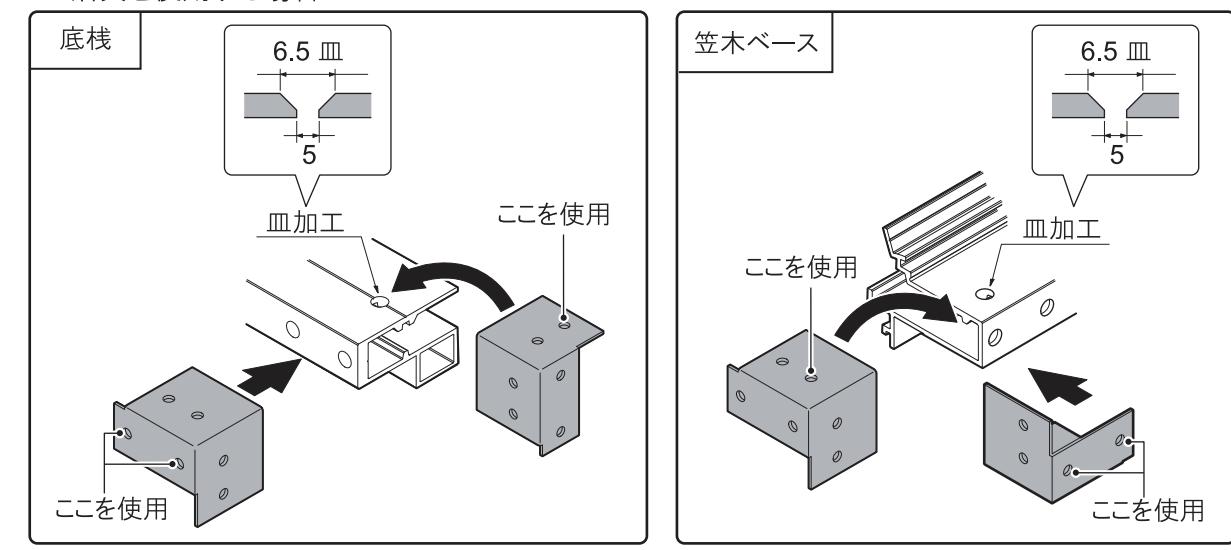
【3】切断した側の底桿、笠木ベースに右図の寸法で穴加工します。

- ・笠木ベース  $\phi 5$ 穴 2ヶ所  
 $\phi 5$ 穴+皿 1ヶ所
- ・底桿  $\phi 5$ 穴 2ヶ所  
 $\phi 5$ 穴+皿 1ヶ所



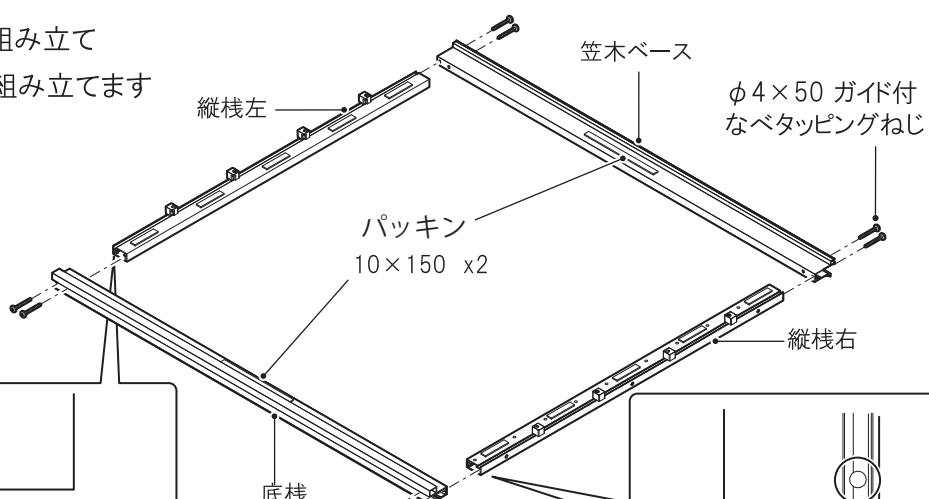
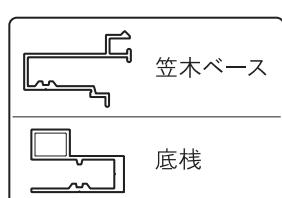
**シグ**  
別売の治具を使用すると簡単に寸法出しが行えます。  
穴加工は、まず $\phi 3.2$ の穴を開けた後 $\phi 5$ のキリで穴を広げてください。

**シグ**  
治具を使用する場合



【4】アルミフレームの組み立て

・加工した部材を組み立てます



重要  
この穴がある方を下にして取り付けてください。



重要  
この穴がある方を下にして取り付けてください。

E

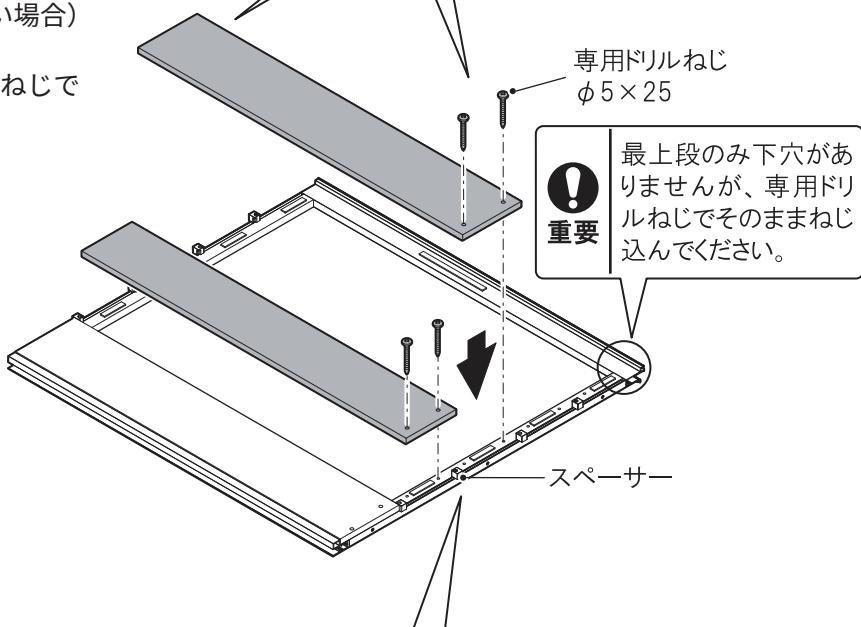
## 【5】ベータウッドの組み立て

スペーサーをベータウッドの間に取り付けます。  
(スペーサーが付いていない場合)

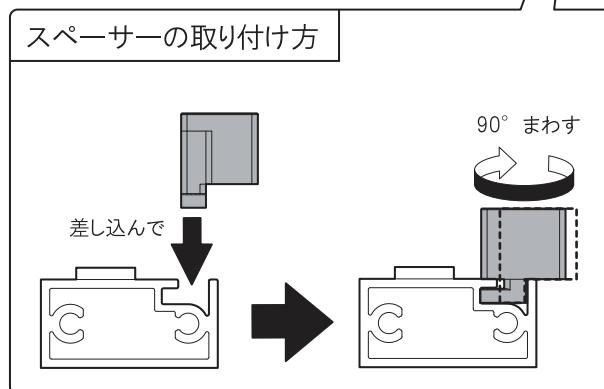
ベータウッドを専用ドリルねじで取り付けます。



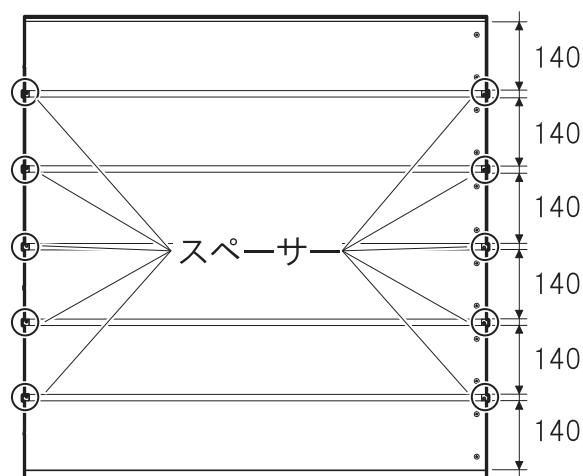
ベータウッドは決して、両側を固定しないでください。



最上段のみ下穴がありませんが、専用ドリルねじでそのままねじ込んでください。

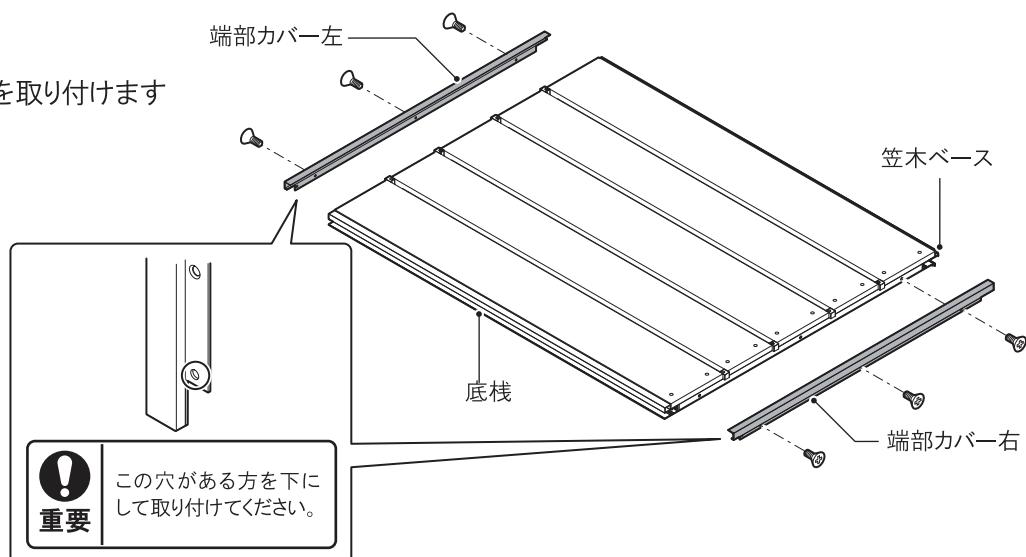


T10 1型



## 【6】組み立て

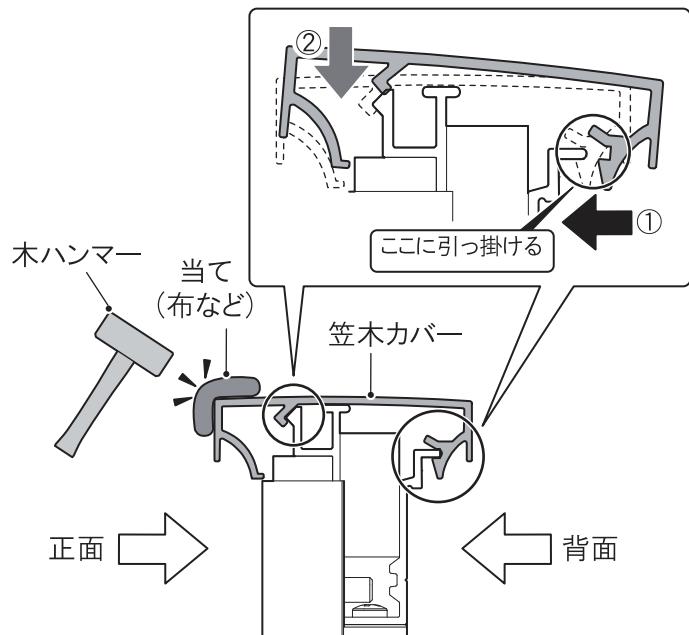
・端部カバーを取り付けます



## 【7】笠木カバーを組み立ててください。

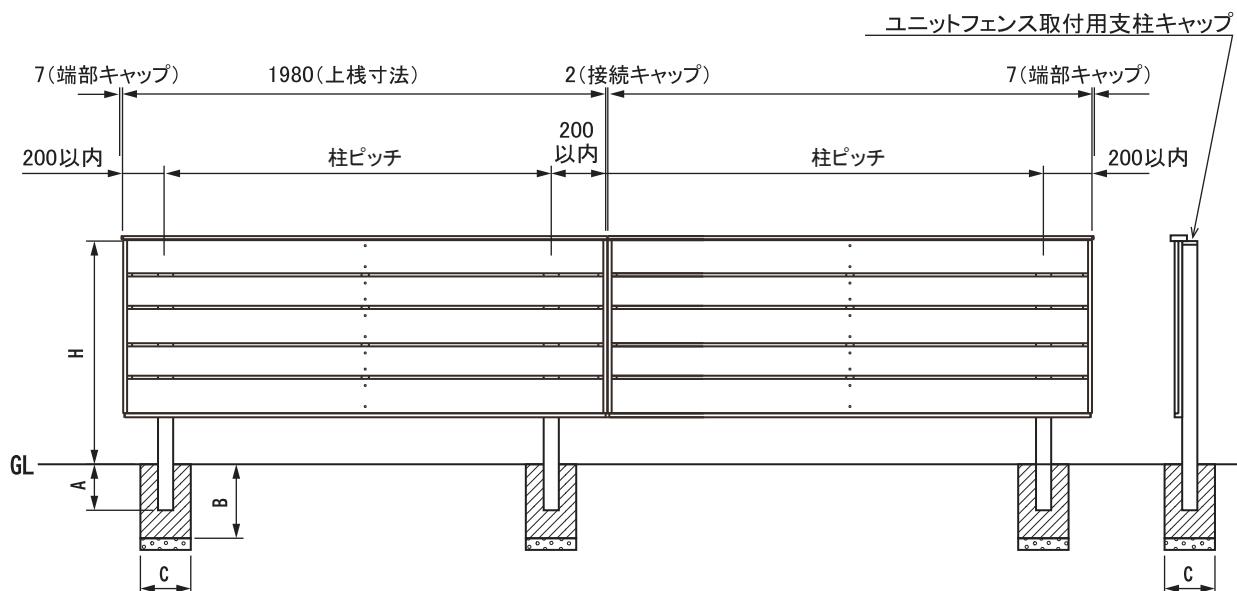
笠木カバーは、①背面側を引っ掛け  
てから、②正面側をはめこみます。

笠木カバーにキズがつかないように布  
などを当てた上から、木ハンマーで当  
ての上から叩いて取り付けてください。



## 1 施工寸法図

「ユニットフェンス取付用支柱キャップ」を使用して、ベータウッド支柱 60X60 または 70X70 にユニットフェンスのパネルを取付けることができます。下図の寸法を守って施工してください。  
また、施工寸法表を参考に、規定の高さを超えないようにしてください。

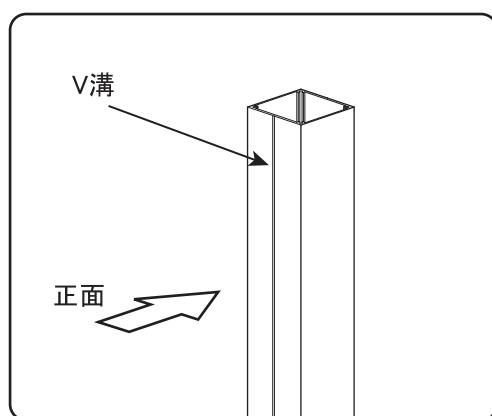


施工寸法表 ※Hは支柱高さ

取付可能な 支柱サイズ	ベータウッド支柱 70×70								
	ベータウッド支柱 60×60			2,000以内			1,000以内		
柱ピッチ(mm)	2,000以内		2,000以内			1,000以内			
H寸法(mm)	800	1,000	1,200	1,400	1,600	1,700	1,800	2,000	2,200
A寸法(mm)	300	300	300	300	350	350	350	350	400
B寸法(mm)	300	300	350	350	400	450	450	450	450
C寸法(mm)	200	300	300	350	400	400	400	450	500

### △注意

- GLより30mm程度の位置に、Φ6程度の水抜き穴を設けてください。内部に水がたまると凍結時に支柱が破裂する恐れがあります。
- 支柱は垂直に施工してください。  
各支柱の最上部は高さを揃えてください。
- ベータウッド支柱には方向性があります。  
V溝のある方を正面とし、キャップやパネルの取付時に取付方向を間違えないようにしてください。



以下の工程は、フェンス裏側から施工できる場合とできない場合とで施工方法が変わります。  
現場環境に適した説明を参考してください。

## 2 支柱の施工

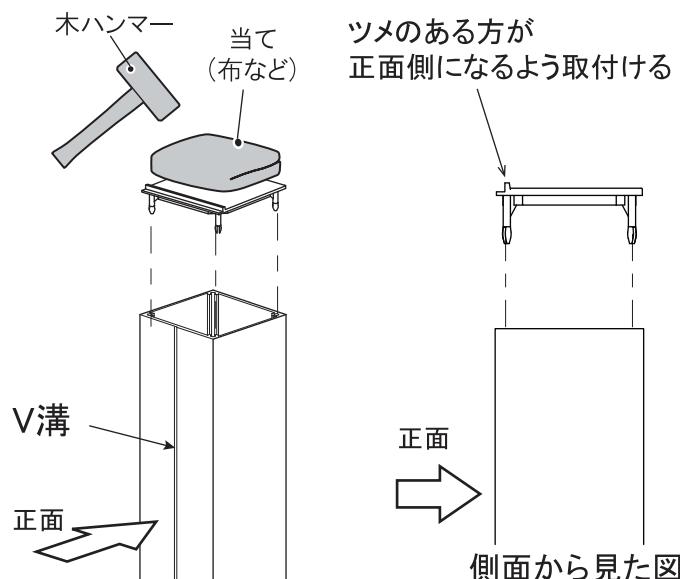
- 【1】**パネルを取付けるすべてのベータウッド支柱のあらかじめキャップがついてない側に、ユニットフェンス取付用支柱キャップを取り付けます。

V溝のある方を正面として、ツメのある方が正面側になるように取付けてください。

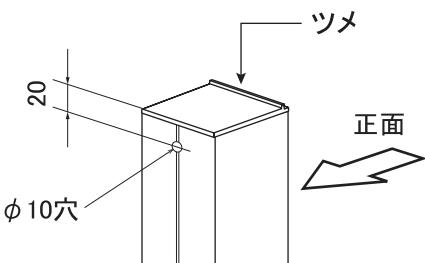
### △注意

無理に力を加えて取付けようすると、キャップの脚部分が破損するおそれがあります。

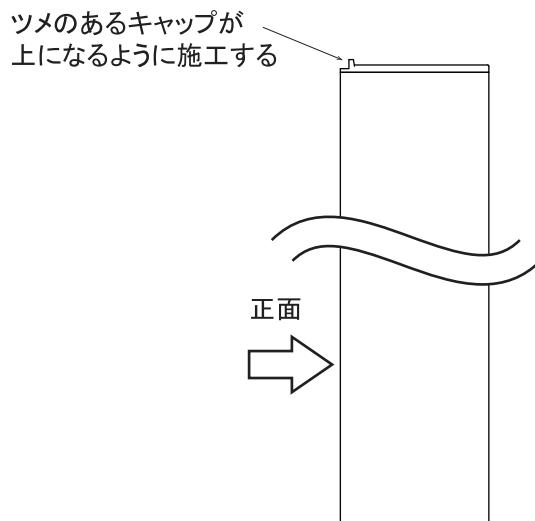
柔らかい布などをあて、木ハンマー等で真上から丁寧に叩いて入れてください。



- 【2】**フェンスの背面から施工できない場合、支柱背面の図の位置に $\phi 10$ の穴を開けてください。  
フェンス背面から施工できる場合は、この手順は不要です。

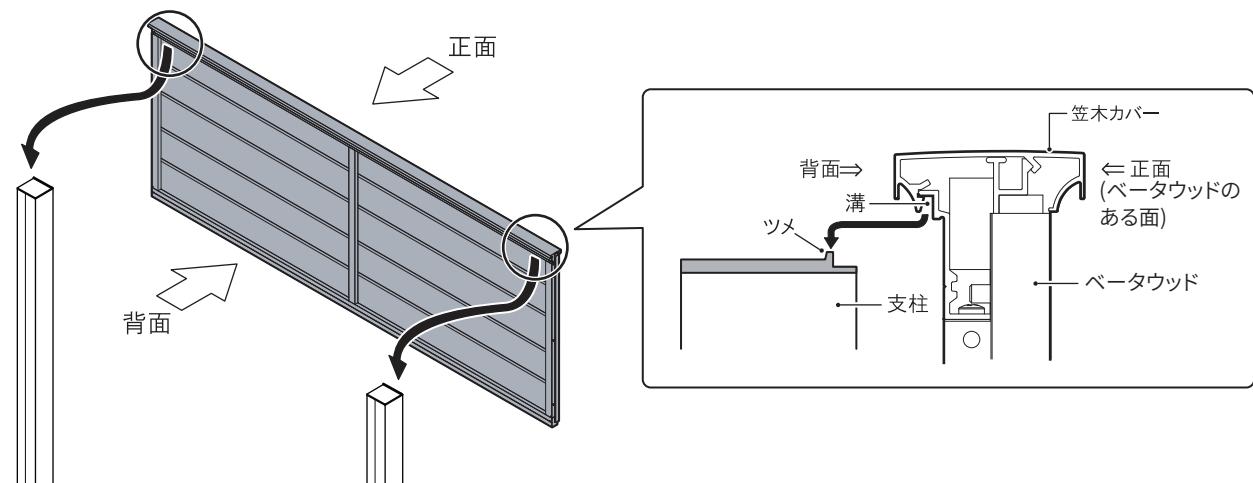


- 【3】**施工寸法図に従い、支柱を施工してください。  
この際、【1】で取付けたユニットフェンス取付用支柱キャップが上側になるように注意してください。



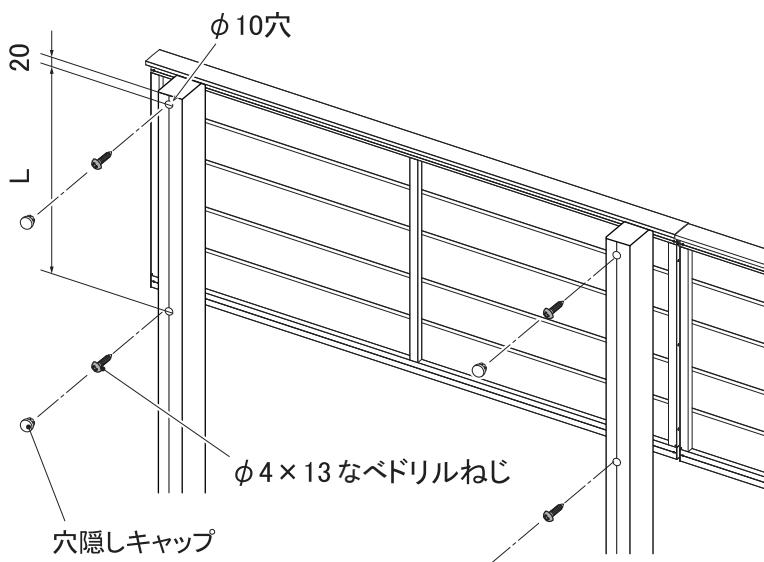
### 3-1 パネルの取付け 背面から施工できる場合(できない場合は3-2へ)

**[1]** 笠木カバーの溝を支柱キャップのツメに引掛けてください。



**[2]** フリーポールへの施工時と同様に、縁の保護キャップを外し、端部キャップ・接続キャップを挿入して位置を決めてください。(P.4~8 参照) 位置が決定したら、それぞれのキャップを専用のねじで固定してください。

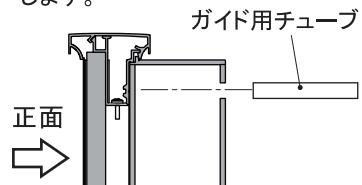
**[3]** 背面より、下図の位置に  $\phi 10$  の穴を開け、その奥に  $\phi 4 \times 13$  なベドリルねじを打ち込んでパネルを固定します。その際、 $\phi 10$  穴にガイド用チューブを挿入し、 $\phi 14 \times 13$  なベドリルねじがドライバーから外れて落ちないようにしてください。  
ねじを打ち終わったら、穴隠しキャップで  $\phi 10$  穴をふさいでください。



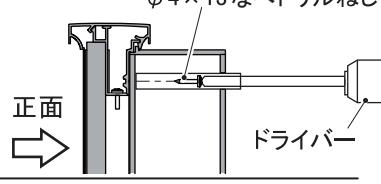
パネルサイズ	L寸法
T10	877

#### ガイド用チューブの使い方

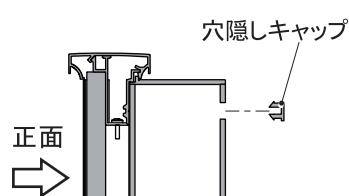
①  $\phi 10$  穴にガイド用チューブを挿入します。



② ガイド用チューブを通して、 $\phi 4 \times 13$  なベドリルねじを打ち込みます。  $\phi 4 \times 13$  なベドリルねじ



③ ガイド用チューブを外し、穴隠しキャップを取り付けます。



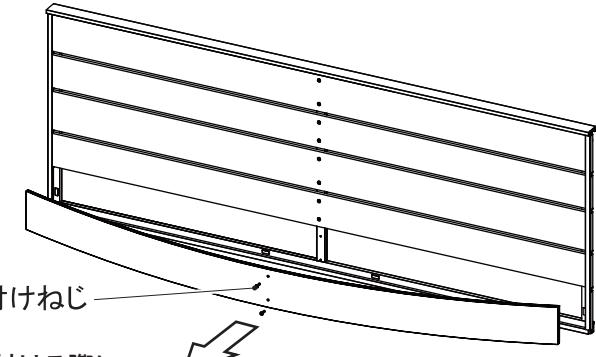
## 3-2 パネルの取付け 背面から施工できない場合

※パネルを切断して使用し、縦桟が無い場合は、この方法では施工できません。

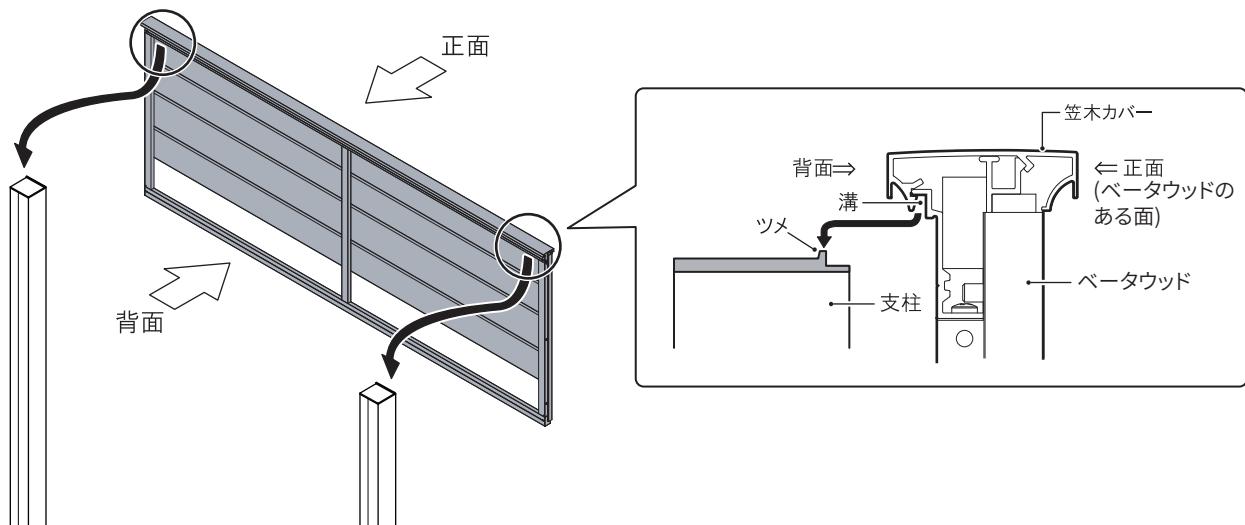
- 【1】**パネルの最下段のベータウッドを一旦取り外します。  
取付けねじを外し、中央部分を手前に引っ張ると取り外すことができます。

**▲注意**

- 取付けねじは、後でベータウッドを再度取付ける際に使用しますので、紛失しないように注意してください。



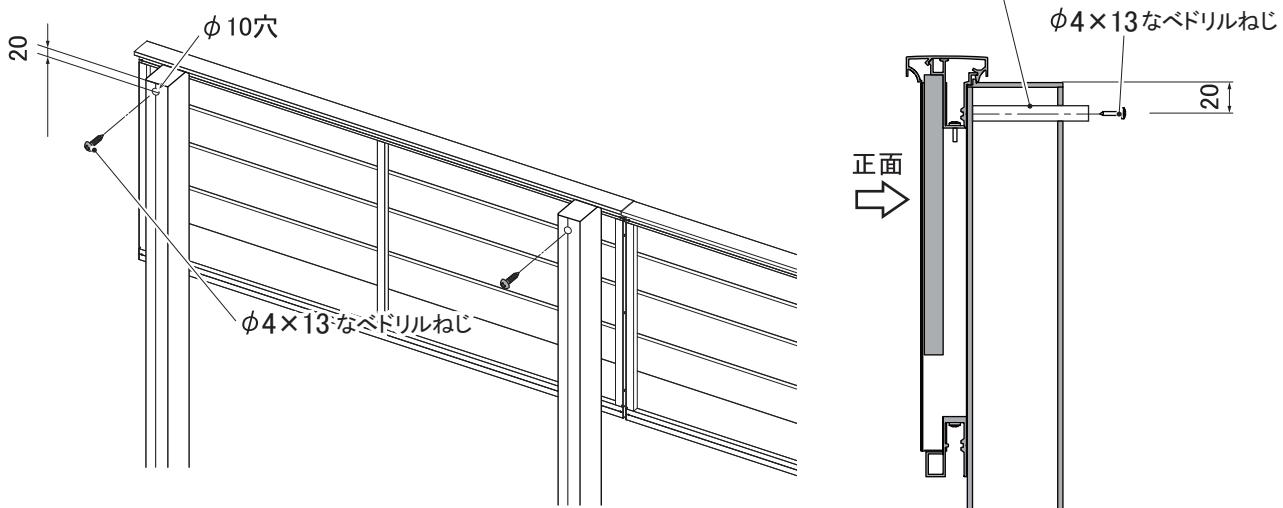
- 【2】**笠木カバーの溝を支柱キャップのツメに引掛けてください。



- 【3】**フリーポールへの施工時と同様に、緑の保護キャップを外し、端部キャップ・接続キャップを挿入して位置を決めてください。(P.4~8 参照)  
位置が決定したら、それぞれのキャップを専用のねじで固定してください。

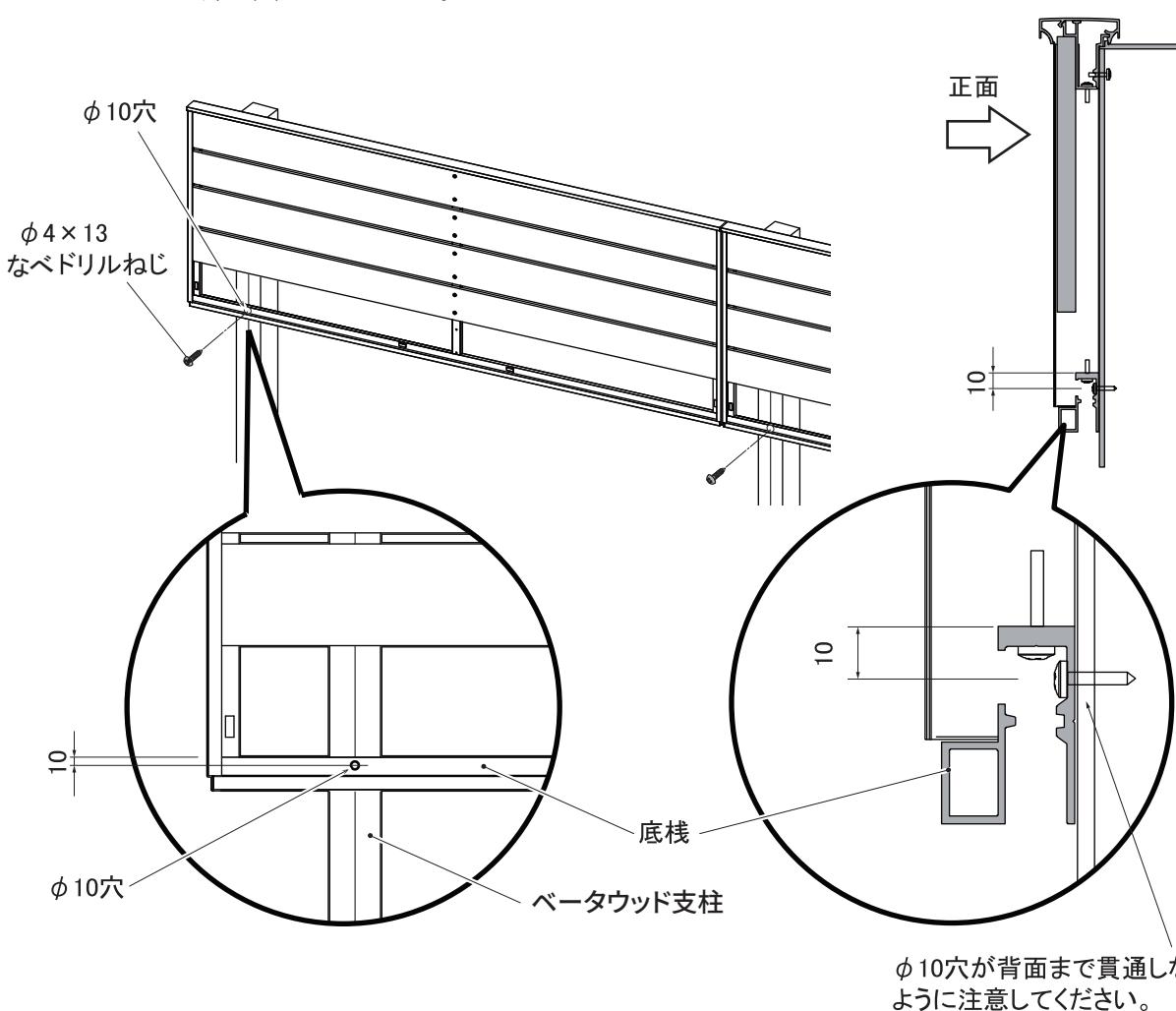
**【4】**P.25、2-【2】で開けた $\phi 10$ 穴の奥に、ガイド用チューブを使って $\phi 4 \times 13$ なべドリルねじを打ち込み、パネル上部を固定してください。

ガイド用チューブ(ねじを打ち込んだ後取り外す)



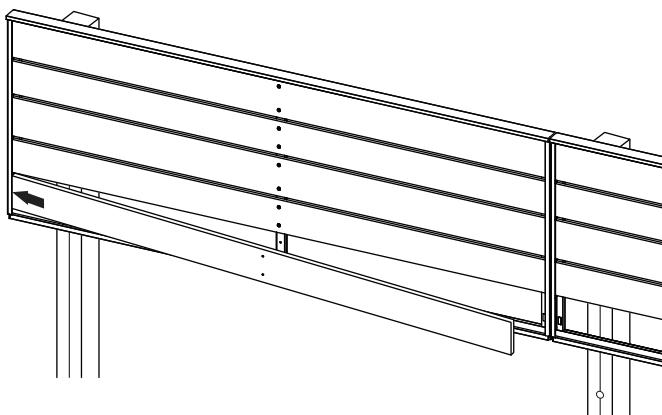
**【5】**正面より、底棟の所定の位置に $\phi 10$ 穴を開け、その奥にねじを打ち込んで、パネル下部を固定してください。

断面図

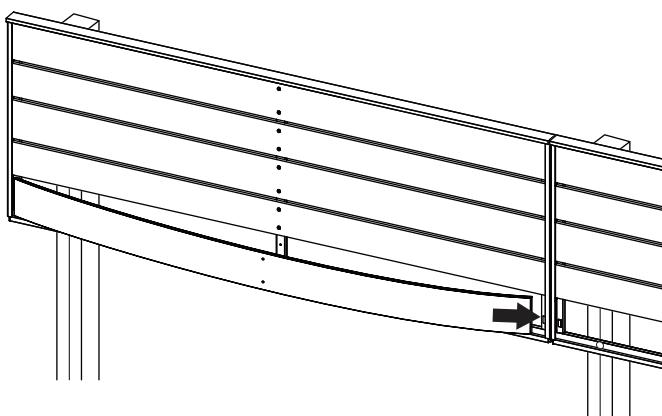


**【6】** 最下段のベータウッドを取付けなおしてください。

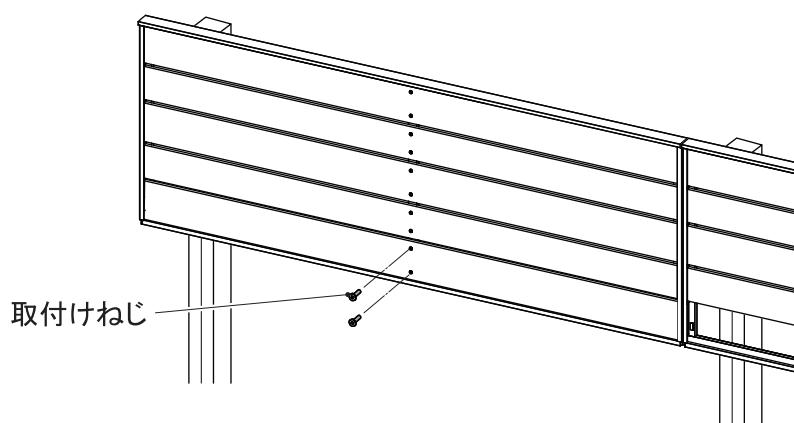
①ベータウッドの片側を  
端部カバーに挿入する



②ベータウッドを軽く曲げながら  
もう片方を端部カバーに挿入する

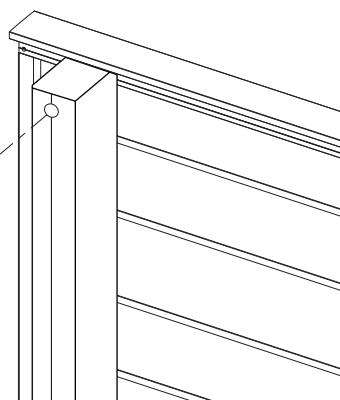


③取付用ねじで固定する



**【4】** 背面の $\phi 10$ 穴を穴隠しキャップでふさいでください。

穴隠しキャップ



# G 補強レールについて

## 1 補強レールの使用方法

補強レールは、ベータウッドおよびベータウッドユニットフェンスの板材にオプションアイテム類を取付ける際に必要な部品です。

以下の手順で、アイテム類を取付ける板材の上部に取付けてご使用ください。

アイテム類の取り付け方の詳細は、それぞれの製品の組立説明書をご覗ください。

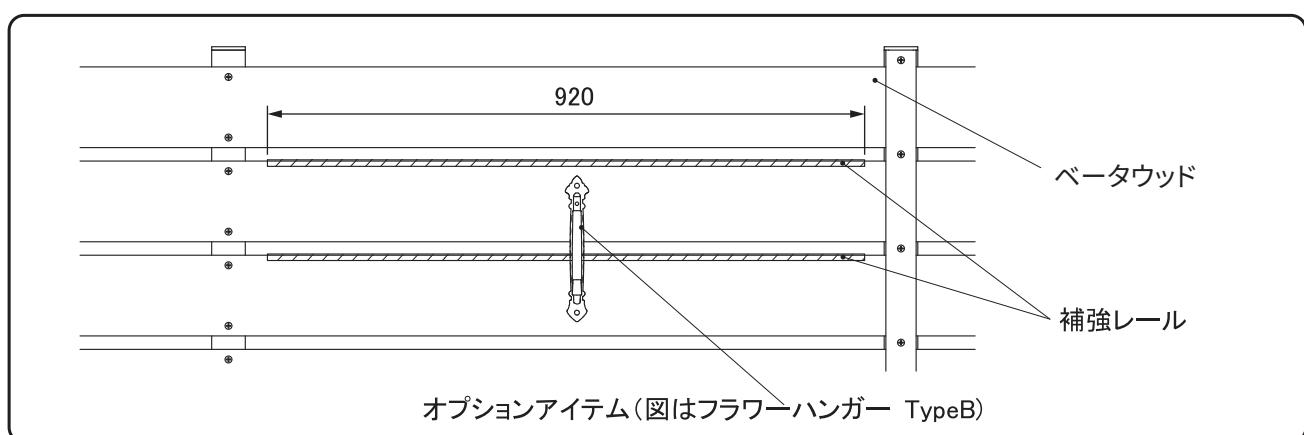
※ベータウッド笠木を付けた場合の最上段板材及び、ベータウッドユニットフェンスの最上段には、補強レールは不要です。

## 2 補強レールの取付け

① アイテム類を取付ける板材に、補強レールを取付けます。

柱間の距離が短く、そのままで取付けられない場合は、適当な長さに切断して使用してください。

② 裏側から付属のナベタッピングネジで固定します。



### 注 意

- ・ポリカパネルには補強レールやアイテム類は取付けられません。
- ・下記の耐荷重以上の力をかけないようにしてください。
- ・ベータウッド板材にアイテム類を取付ける際は、必ず補強レールを使用してください。  
補強レールを使用しないと、ベータウッドが変形・破損するおそれがあります。
- ・荷重がかかるすべてのベータウッド板材に対して使用してください。

#### 耐 荷 重

補強レール 1本につき 6 kgまで



## 工事店様へ

- ◆改造、変更はしないでください。
- ◆組み立て終了後、ねじ類の締まり具合を確認してください。
- ◆組み立て終了後、取付説明書、取扱説明書は御施主様にお渡しください。

## 御施主様へ

- ◆普段のお手入れは濡らした布でお拭きください。
- ◆汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めて使用し、洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ◆シンナー、ベンジンなどの溶剤のご使用は、絶対にお止めください。製品表面に影響が出る可能性があります。



〒601-8317 京都市南区吉祥院新田式ノ段町45  
TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190  
株式会社 傳來工房

DSF-IM7  
2025.04A